

# 立命館大学における 図書館改革

立命館大学研究部門

次長 郷端清人

[gouba@st.ritsumeikan.ac.jp](mailto:gouba@st.ritsumeikan.ac.jp)



# 立命館大学の沿革

立命館大学

立命館アジア  
太平洋大学

(学部)

アジア太平洋学部  
アジア太平洋マネジ  
メント学部

(大学院) / 研究部門)

言語教育センター  
アジア太平洋研究  
センター

(学部)

法学部  
経済学部  
経営学部  
産業社会学部  
文学部  
国際関係学部  
政策科学部  
理工学部  
情報理工学部

(大学院 / 研究部門)

社会学研究科  
法学研究科  
経済学研究科  
経営学研究科  
文学研究科  
理工学研究科  
応用人間科学研究  
国際関係研究科  
政策科学研究科

衣笠社系研究機構

BKC社系研究機構

総合理工学研究機構

国際教育・研究推進機構

学生数: 35,000人

教員数: 730人

職員数: 460人

# 大学（国立大学）の構造改革

- ⌘ 国立大学の大胆な再編・統合(スクラップ・アンド・ビルド)
  - 各大学や分野ごとの再編・統合
  - 国立大学の数の大幅な削減
- ⌘ 国立大学に民間的発想の経営手法(新しい国立大学法人)
  - 大学役員や経営組織に外部の専門家登用
  - 経営責任の明確化により機動的・戦略的に運営
  - 能力主義・業績主義に立った人事システム導入
  - 国立大学の機能の一部を分離・独立(独立採算)
- ⌘ 第三者評価による競争原理を導入(トップ30大学)
  - 専門家・民間人が参画する第三者評価システム
  - 評価結果の全面公開
  - 評価結果に応じた資金の重点配分
  - 国公私を通じた競争的資金を拡充



# 大学を核とした改革の具体的プラン

トップ30大学（21世紀COEプログラム）

大学発ベンチャーを3年間で1000社

特許取得を現在の年間100件から10年後に1500件

特許の企業化を現在70件から5年後に700件

日本版シリコンバレーを今後10年間で全国に  
10ヶ所以上創出

50年間にノーベル賞受賞者30人程度

社会人キャリアアップ100万人計画の推進

大学院に企業人を早期に2万人受け入れるなど

# 大学が対応すべき課題

- ✧ 設置基準の緩和（評価時代の到来）
- ✧ 社会ニーズに対応した教育改革
- ✧ グローバル化
- ✧ 少子化・高齢化
- ✧ 大学のボーダレス化（大学間、学部間）
- ✧ 教育・研究の高度化
- ✧ 社会とのネットワーク拡大（産官学の連携）
- ✧ 個別大学の優位性（教育・研究・課外）の取り組み
- ✧ I T 化

# 大学コンソーシアム京都

## 京都市

大学・短期大学  
国公立 8校

私立大学  
41校

経済団体  
4団体

### 国立大学

京都大学  
京都教育大学  
京都工芸繊維大学

### 公立大学

京都府立大学  
京都府立医科大学  
京都府立医科大学医療  
技術短期大学部  
京都市立看護短期大学  
京都市立芸術大学

### 私立大学

池坊短期大学  
大谷大学  
大谷大学短期大学部  
華頂短期大学

京都医療技術短期大学  
京都外国語大学  
京都外国語短期大学  
京都学園大学  
京都経済短期大学  
京都光華女子大学  
京都光華女子大学短期大学部  
京都嵯峨芸術大学  
京都嵯峨芸術大学短期大学部  
京都産業大学  
京都女子大学  
京都女子大学短期大学部  
京都精華大学  
京都創成大学  
京都造形芸術大学  
京都芸術短期大学  
京都橘女子大学

京都短期大学  
京都ノートルダム女子大学  
京都文教大学  
京都文教短期大学  
京都薬科大学  
種智院大学  
西山短期大学  
成案造形大学  
成案造形短期大学  
聖母女学院短期大学  
同志社大学  
同志社女子大学  
同志社女子大学短期大学部  
花園大学  
佛教大学  
平安女学院大学  
平安女学院短期大学

明治鍼灸大学  
立命館大学  
龍谷大学  
龍谷大学短期大学部

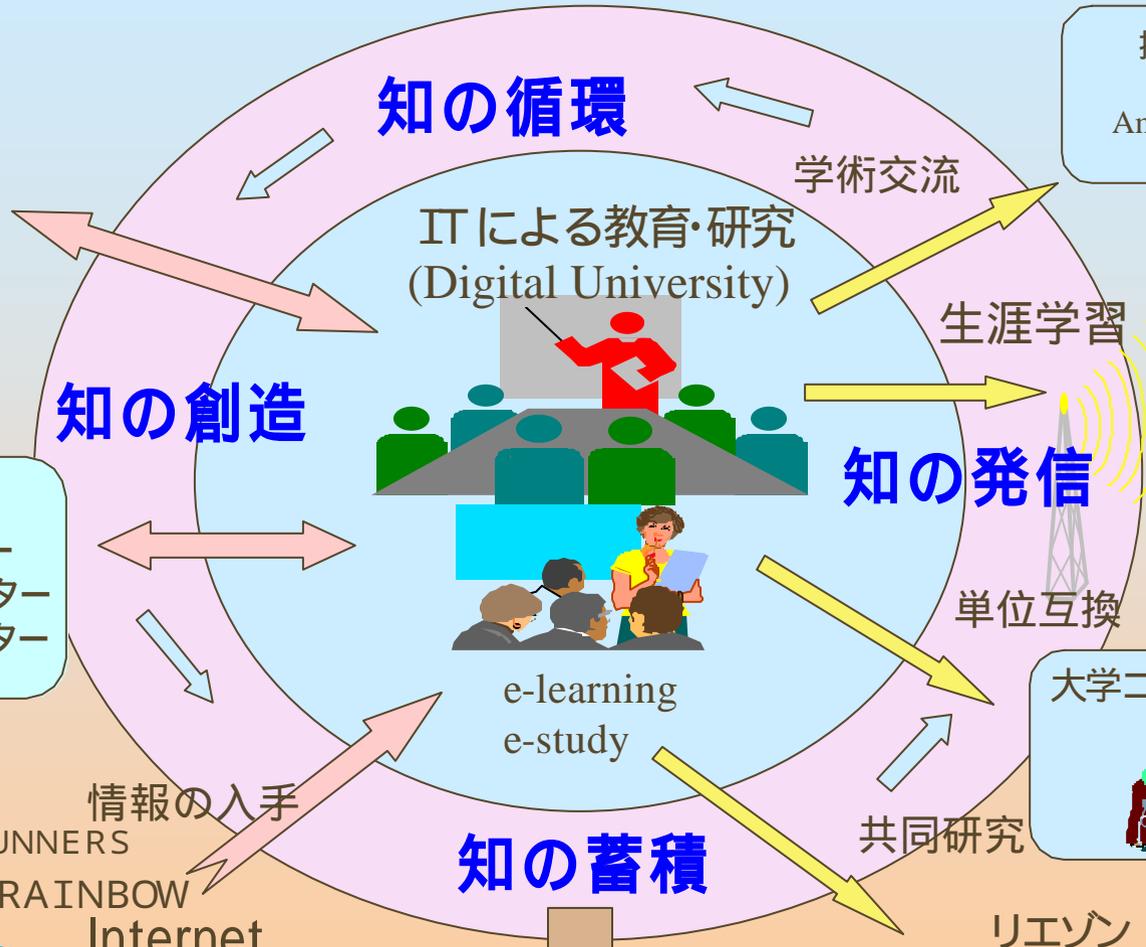
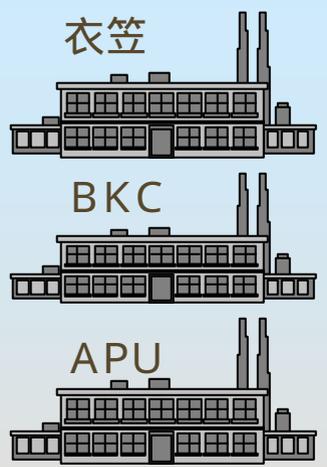
### 地方公共団体

京都市

### 経済団体

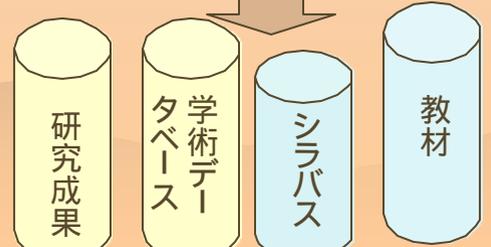
京都商工会議所  
京都経営者協会  
社団法人 京都経済同友会  
社団法人 京都工業会

# ITによる知の創造と発信

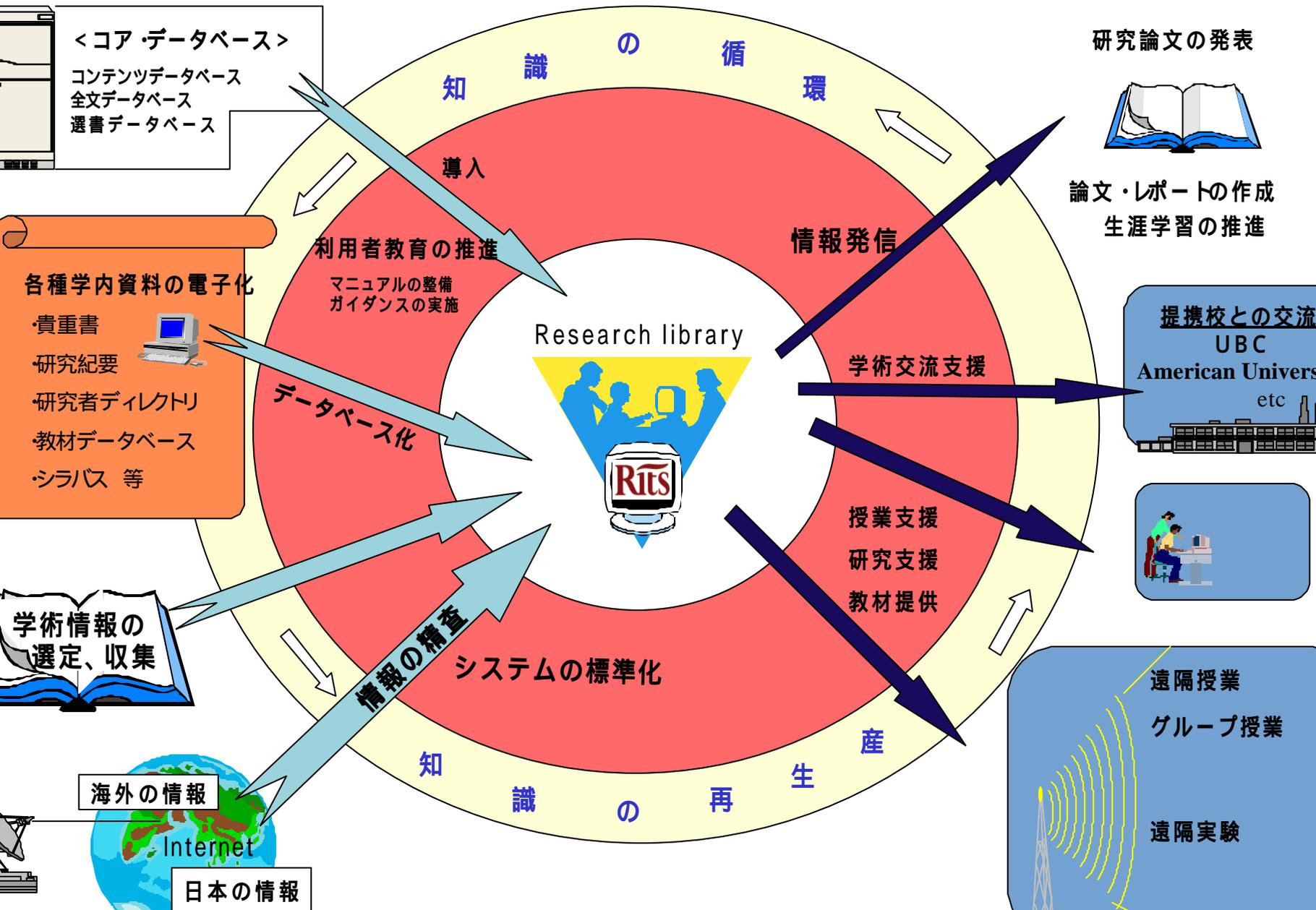


先端IT研究センター  
アートリサーチセンター  
オープンリサーチセンター  
ファイナンス研究センター  
etc

総合情報センター  
電子図書館  
・データベース  
・電子ジャーナル



# 学術情報のLogistics



# 図書館改革の柱

- ⌘ IT化の推進
- ⌘ 学術情報データベースの高度化
- ⌘ 業務委託の推進
- ⌘ 組織改革



# 大学のIT化

- ♫ 第 期：「個別業務のシステム化」
  - 業務の効率化、合理化
- ♫ 第 期：「トータルシステムの構築」
  - 業務の標準化、情報の一元管理
  - 情報の有効活用・共有の促進
- ♫ 第 期：「資源共有・ネットワーク時代」
  - 情報の戦略的活用、情報創造・知識共有
  - 活動のネットワーク化(電子図書館の構築)

# 情報化の推進

## ユーザの拡大

学園の全構成員を  
ユーザ化

## データ拡大

情報共有化を  
促進させる

キー・コンセプト  
キャンパス・イントラネット

## エリアの拡大

携帯端末など  
アクセス手段の多様化

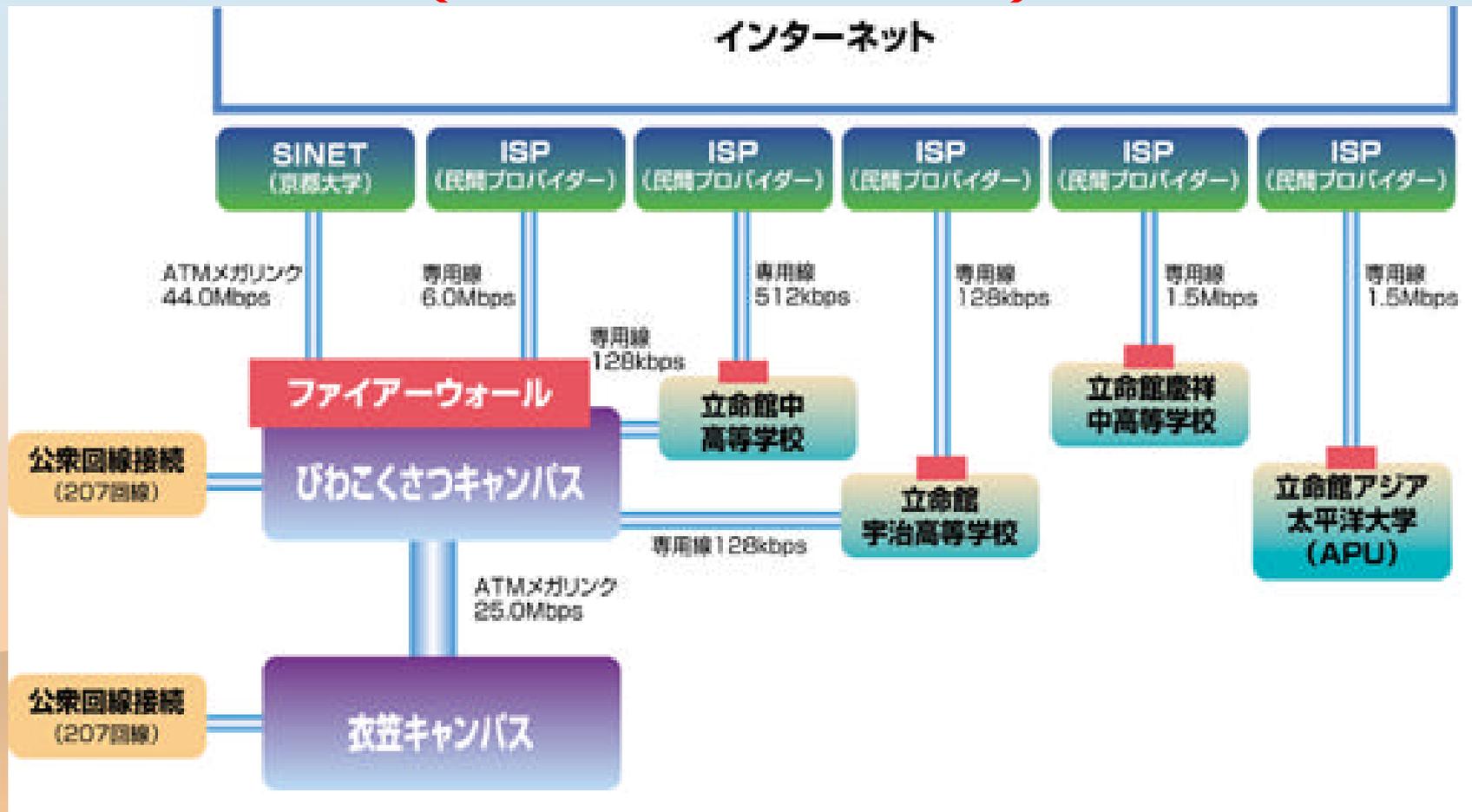
## 業務拡大

組織としての  
効果的利用

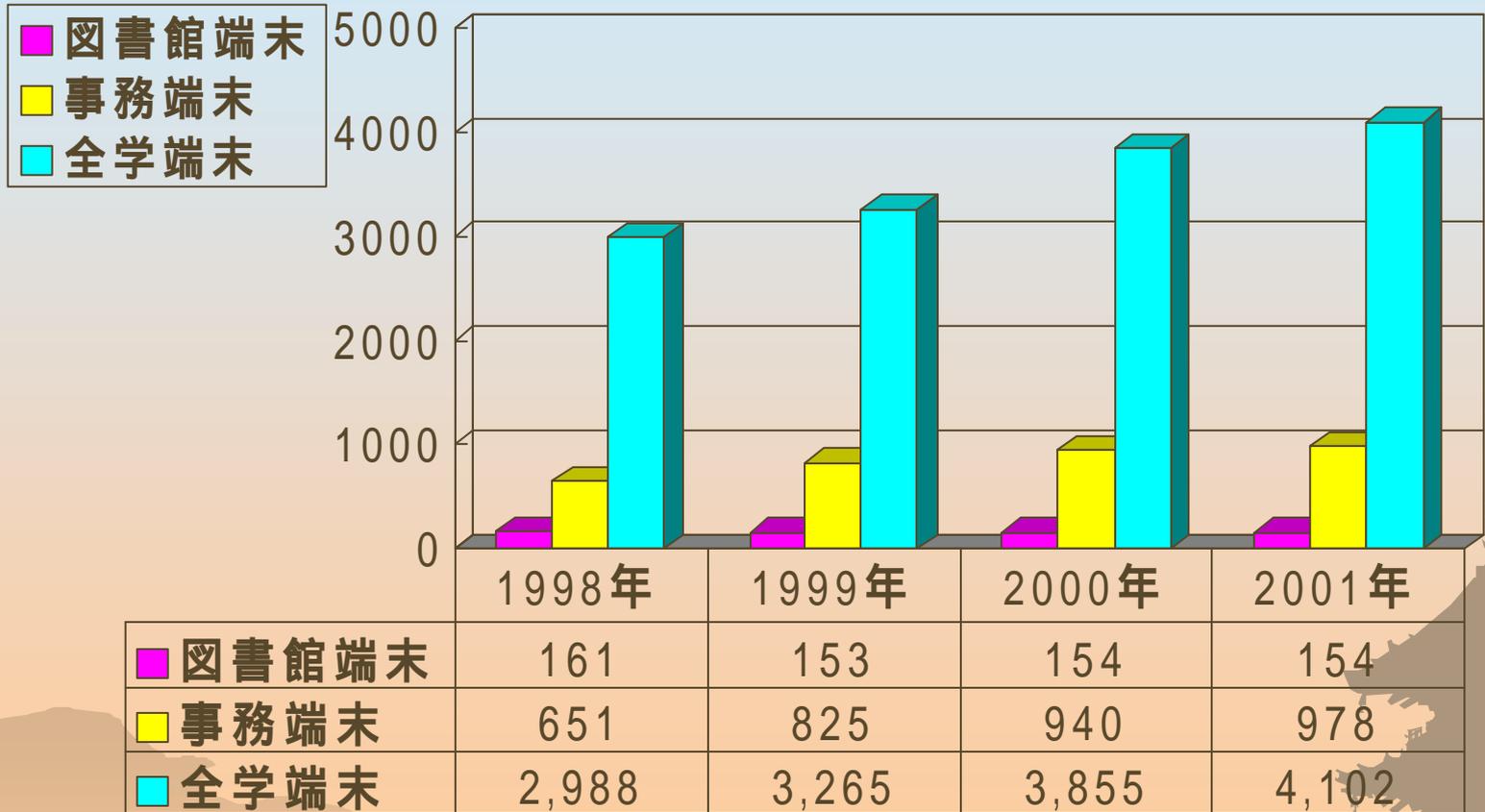
# 情報基盤整備事業の経過

- ♫ 第1期計画(京都キャンパス: 1993年~1994)
- ♫ 第2期計画(滋賀キャンパス: 1995年)
- ♫ 基幹情報システムの開発
  - 図書館情報システム(RUNNERS)の開発(1995年)
  - 事務情報システム(RISING)の開発(1996年~1998年)
- ♫ 第3期計画(1997年~1999年)
  - 1997年: 第1期分のリプレース: BKC新展開
  - 1998年: 第2期分のリプレース: 衣笠新展開
  - 1999年: 新大学の情報基盤整備、RUNNERSとRISINGのリプレース

# RAINBOWネットワーク全体像 (2002年4月現在)



# 端末の推移



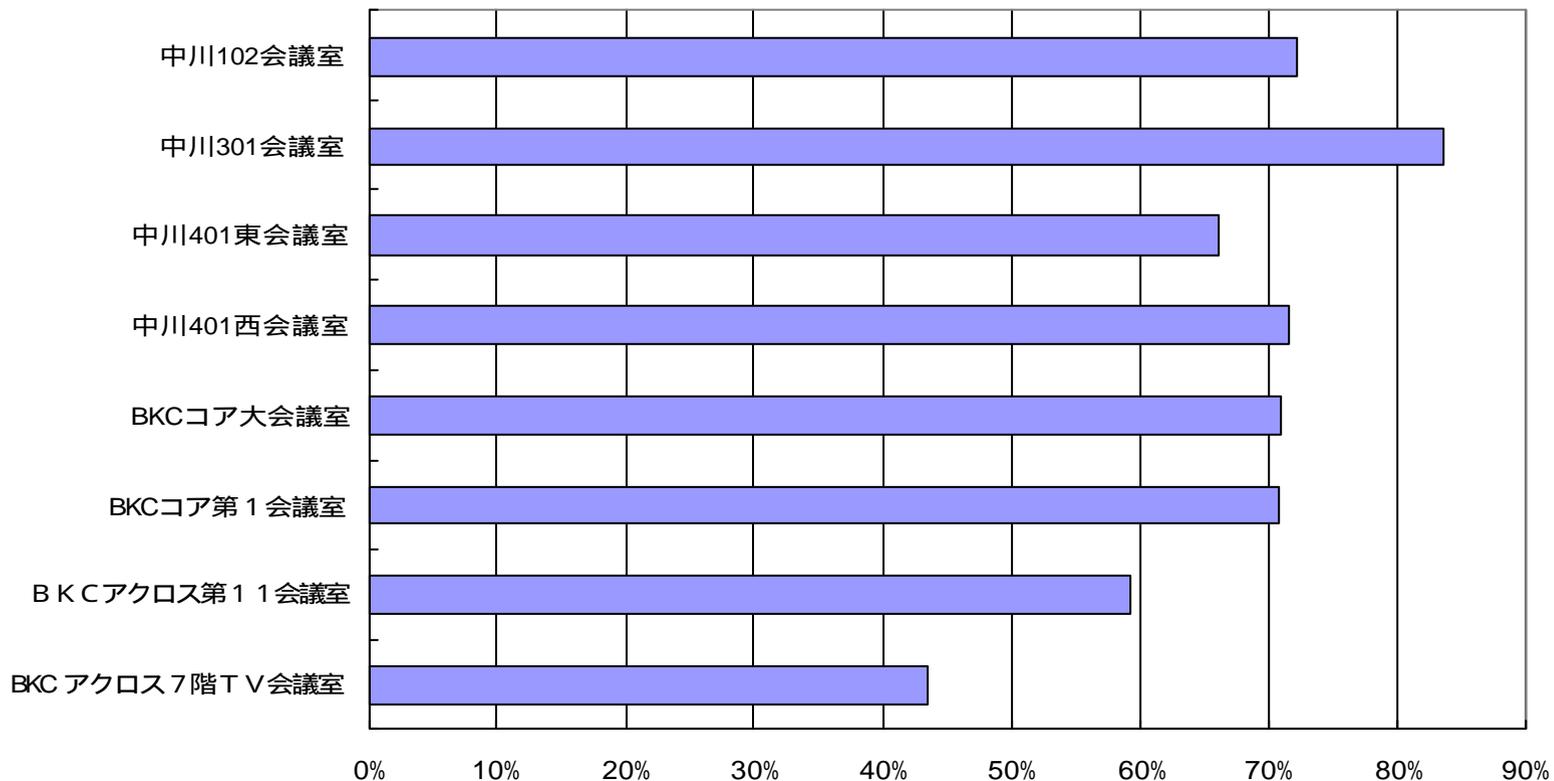
# オープンルーム利用状況

(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
■ 2000年度	151,656	172,874	202,247	180,837	26,336	75,821	158,483	144,271	124,128	95,862	28,085	35,085	1,395,685
■ 2001年度	119,366	143,810	158,056	147,624	22,138	60,420	170,645	172,540	140,014	115,289	31,222	37,810	1,318,934

# テレビ会議システム稼動状況



# **RUNNERS** (立命館大学学術情報システム: *Ritsumeikan University* New “*Episteme*” Academic Information Retrieval System)

## 図書管理サブシステム

(図書の発注・受入登録、  
支払い業務)

## 閲覧管理サブシステム

(貸出/返却、所在管理、  
蔵書点検)

## 目録管理サブシステム

(図書目録および雑誌目録)

## 蔵書検索システム

(OPAC、各種コンテンツ  
の提供)

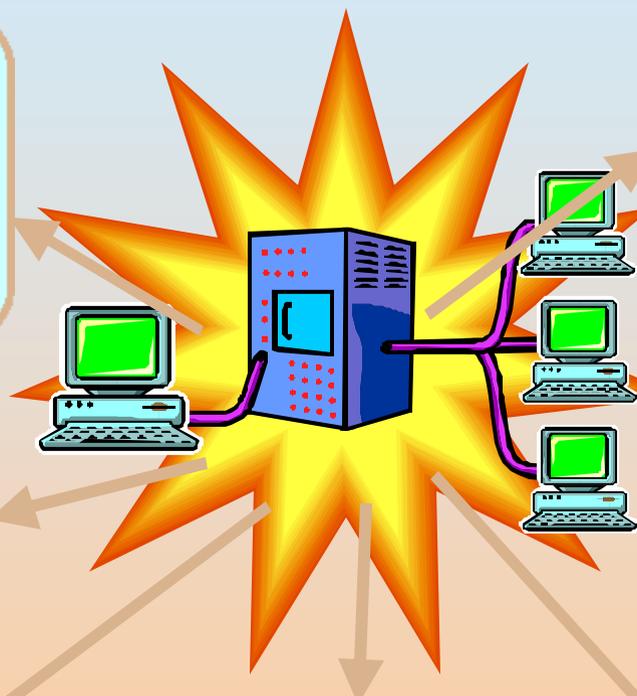
## 雑誌管理サブシステム

(雑誌の発注・受入、登録、  
支払い業務)

## 利用者支援サブシステム

ウェブ上で公開  
利用状況の確認  
予約/取り寄せ機能

## ILL 管理サブシステム



# 図書館システムの構築で考慮した事項(1)

1. 多様な学術情報(一次 二次情報)の構築と検索
2. 大容量の学術情報の構築と検索
3. 学内利用者(3万人) + 外部利用者(インターネット)が対象
4. 経済的なシステム構築



## 図書館システムの構築で考慮した事項(2)

1. 業務用サーバの負荷軽減
2. セキュリティの確保
3. DBMSと検索専用エンジンの融合化
4. データメンテナンス(即日、即時)の容易性
5. システム運用管理の容易性



# RUNNERSの特徴

オンラインデータベースの利用

列)  
朝日新聞DNA  
Elsevier Science Subscription  
日経テレコン21

いつでも、どこからでも  
~学内でも、自宅からでも~



RUNNERS 新機能

Runners蔵書検索  
資料の予約、取り寄せ  
利用状況確認  
購入希望



図書館や修学館、メディアセンター、  
メディアライブラリーでは

図書や雑誌、新聞の利用



CD-ROMデータベースの利用

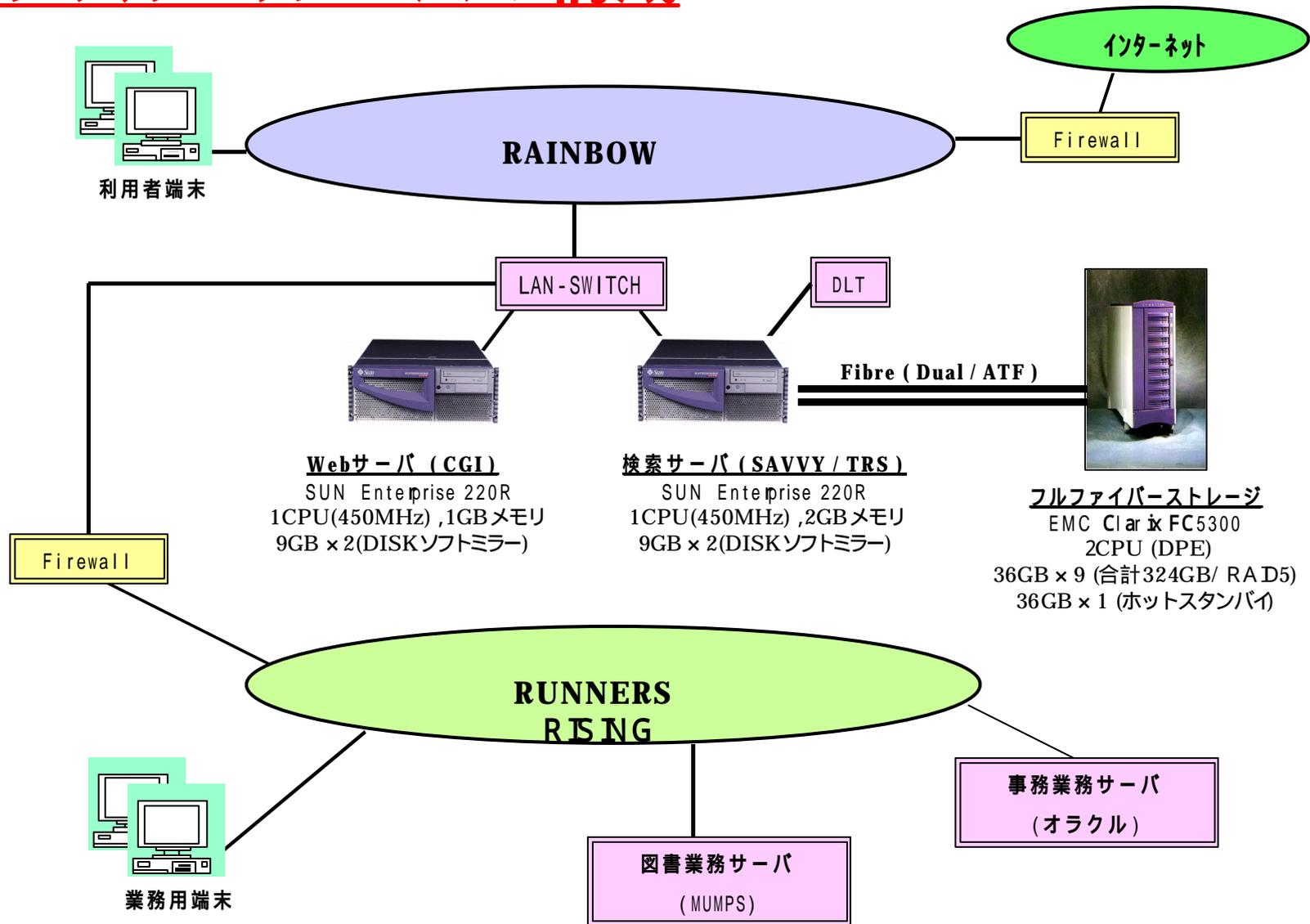


論文の作成  
学生支援のための情報収集  
学会等の学術情報の入手

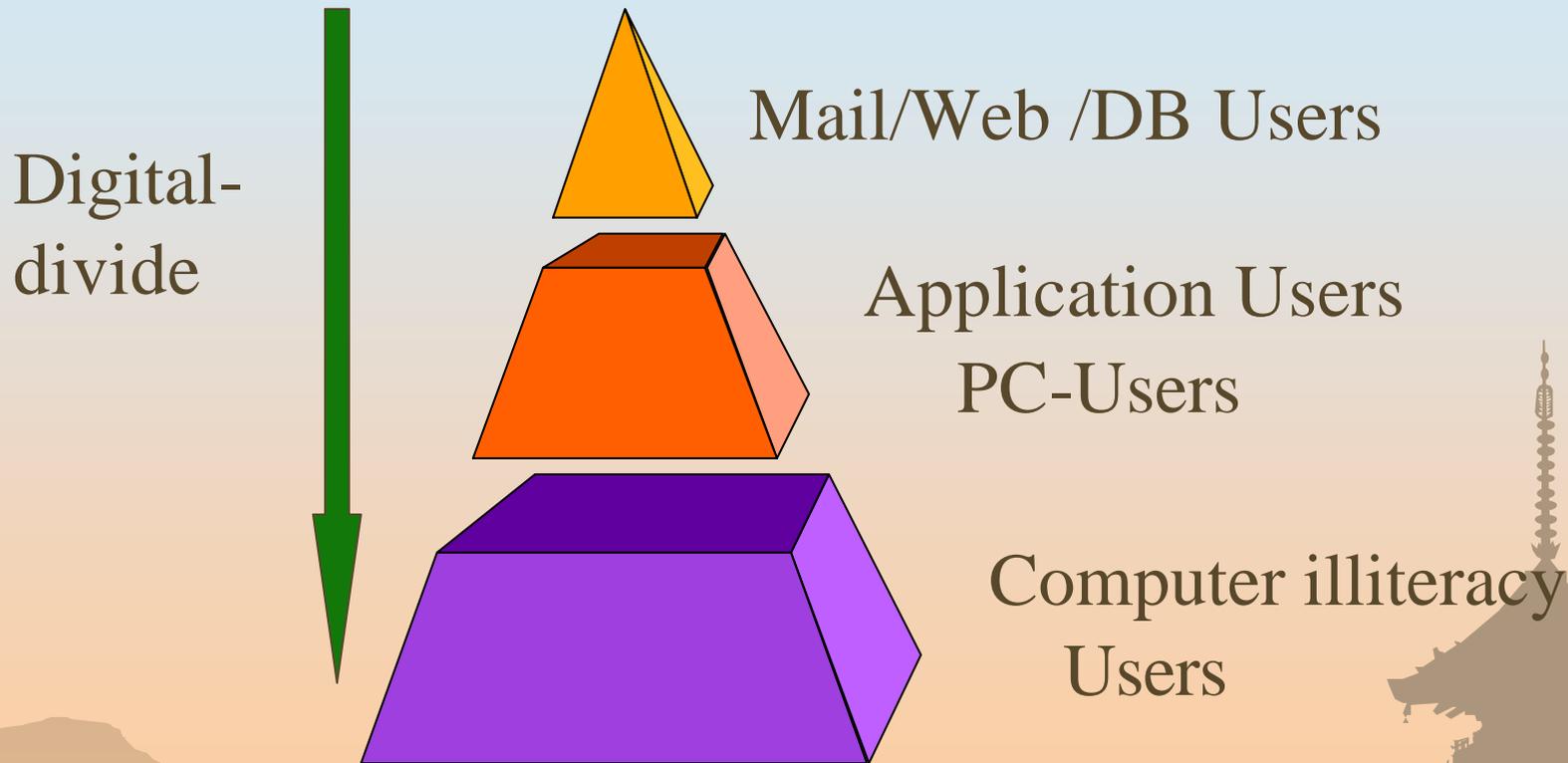
等々



# システムサーバの構成



# 「インターネットにもある時代」から 「インターネットにしかない時代」へ



# Information Literacyの構成要素

- ⌘ 情報の発生、流通、収集、組織、利用のプロセス、あるいはシステム
- ⌘ 情報探索・入手のためのシステムとサービスの利用法
- ⌘ 図書館を含む多様な情報チャンネルと資源の有効性と信頼性の評価方法
- ⌘ 必要とする情報を収集・加工・保管するための基礎知識（ワープロ、表計算、データベースなどの使い方、図書、雑誌、報告書、データベースなどの文献の利用法）
- ⌘ 批判的思考
- ⌘ 成果発表の方法（口頭発表、論文作成など）
- ⌘ 情報に関する社会的諸問題（著作権、プライバシー、情報公開など）を理解できる知識

# キャンパス情報の整備

## ✧ 教育に関するもの

- シラバス、教材データベース、学生向け配布物など

## ✧ 学術情報に関するもの

- OPAC、各種学術データベース
- 修士/博士論文、紀要・研究者論文、研究者情報など

## ✧ 学園広報に関するもの

- 要覧、学内広報物など

## ✧ 学生サービスに関するもの

- 受講登録、休講情報、成績閲覧、学事日程、奨学金情報、就職情報、イベント情報、課外活動情報など

## ✧ 事務情報に関するもの

- 学生実態情報、会議資料、施設情報、教職員録、諸規定集、電話帳など

# 大学図書館IT化

- ⊕ 供給が需要を生む！
- ⊕ 環境こそが人を変える！
- ⊕ 「ハイブリッド機能の高度化」をいかに！

電子情報

紙メディア・アナログ

利用者環境



# 図書館サービスの拡大

- ⌘ 各種データベースの整備(全文型を含む)
- ⌘ SDIサービス(メールの情報サービス)
- ⌘ インターネットを介してのレファレンスサービス
- ⌘ インターネットを介しての貸出状況の確認、予約
- ⌘ ホームページの充実など



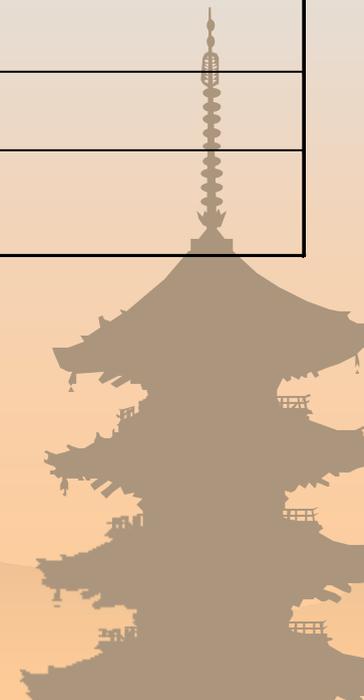
# 学術情報データベースの高度化

- ⊗ 独自開発データベース
- ⊗ 自然増殖型データベース
- ⊗ 導入データベース
  - 無料化を追求

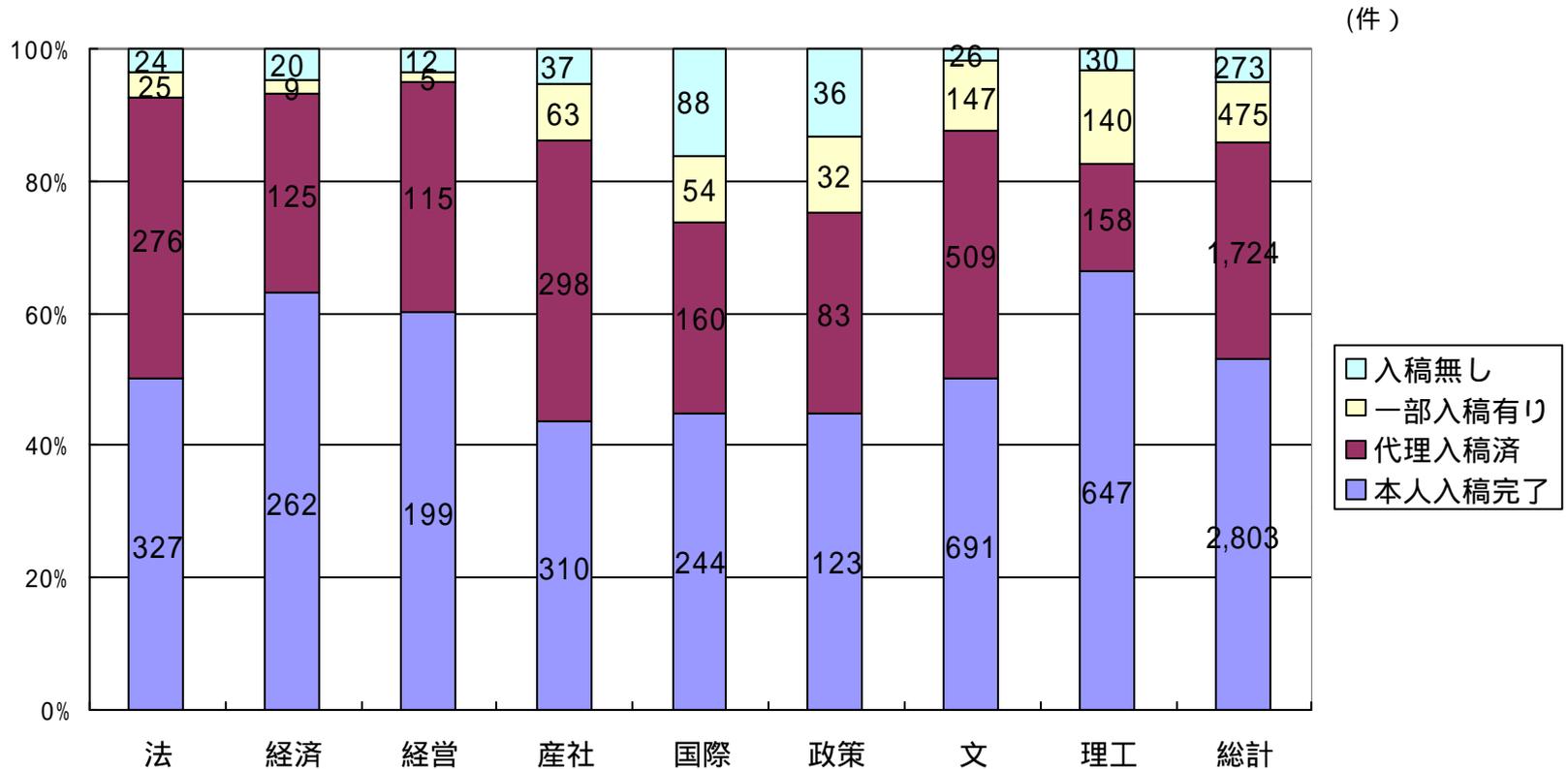


# 独自開発データベース

デ - タベ - ス種類	開始年月	概 要
GHQ / SCAP 文書 デ - タベ - ス	1996 6月～	第2次世界大戦後、連合国軍 (GHQ / SCAP) 料
パリ講和会議コレクション	1993 3月～	第1次世界大戦の戦後処理のために開催された「パリ講和会議」の源資料



# オンラインシラバス入力状況



# RUNNERSデ - タベ - ス件数

デ - タベ - ス内容			2002年5月現在
蔵書データ (目録・所在)	図書	書誌	1,320,138
	雑誌	書誌	38,099
		カントレコード	24,431
洋雑誌カントコンテンツデータ			14,487,399
和図書カントコンテンツデータ			698,205
出版情報データ			1,437,968

(件)  
250,000

# Web - OPAC : 2001年

200,000

150,000

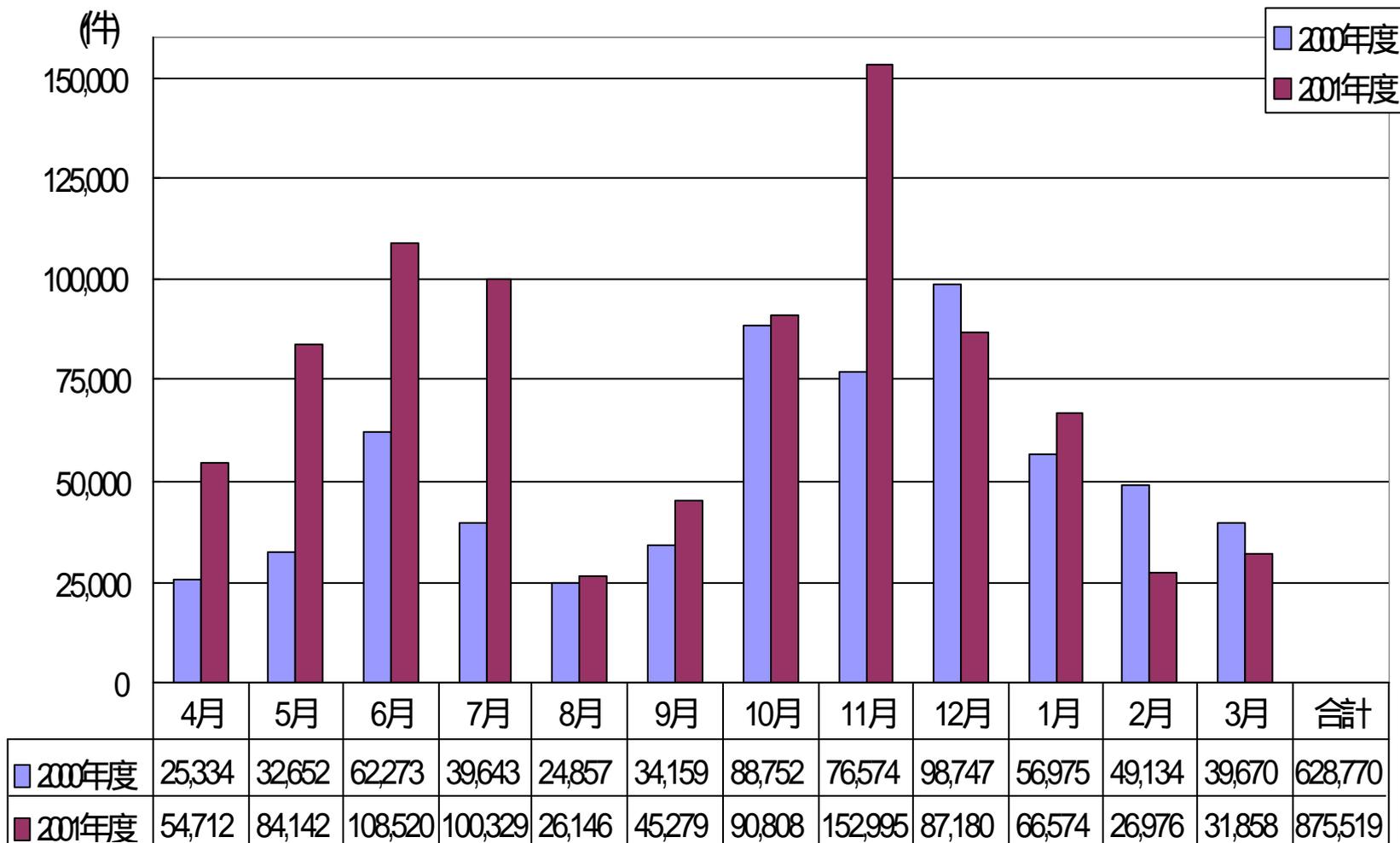
100,000

50,000

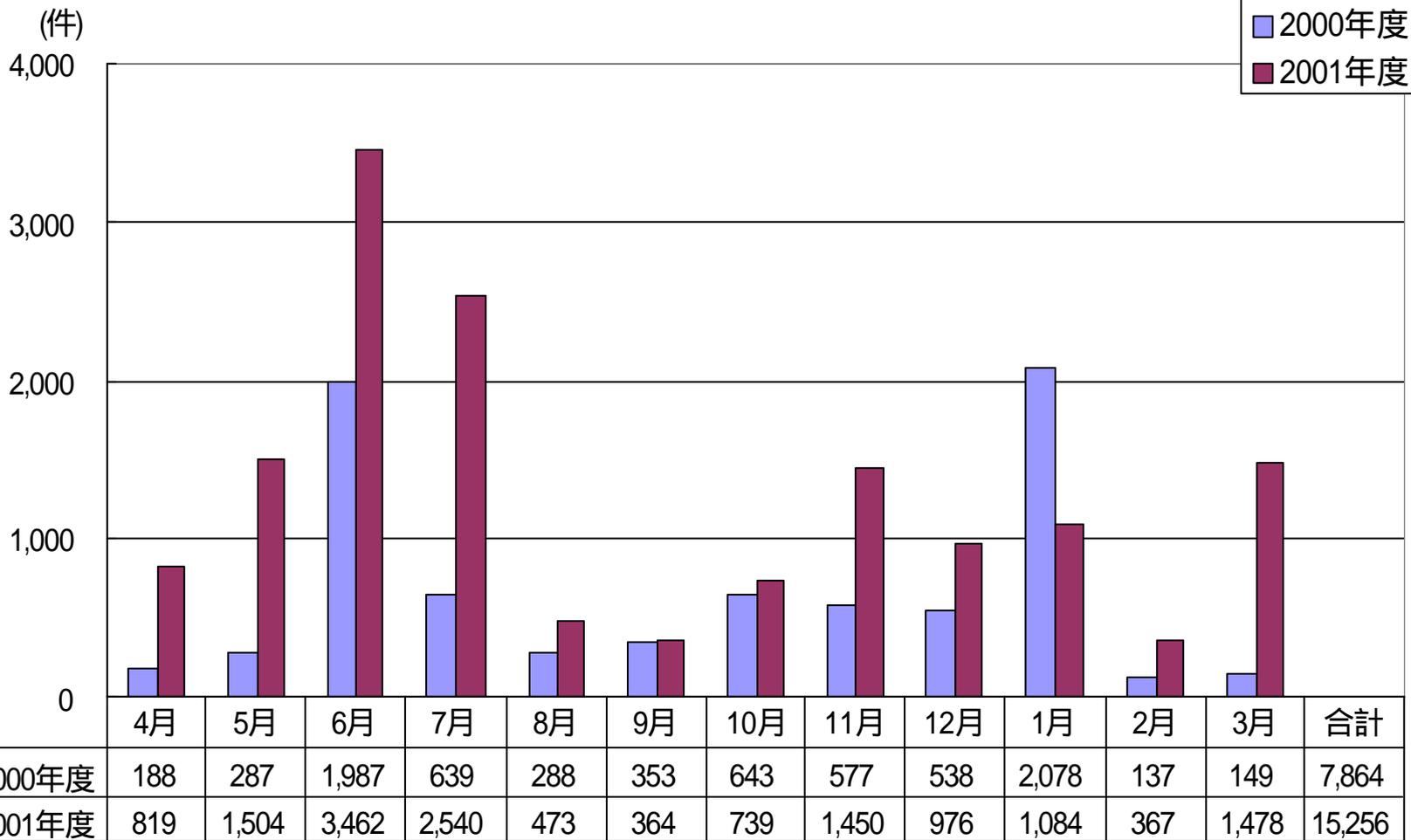
0

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月	2月	3月	合計
■ 衣笠	112,403	142,693	154,723	215,901	55,352	86,269	146,558	147,273	141,610	157,043	23,886	31,101	1,414,812
■ BKC	41,842	49,769	52,450	68,684	16,449	21,498	41,452	41,176	35,934	49,117	17,134	10,971	446,476
■ APU	7,260	9,053	13,017	12,156	7,616	1,552	11,784	12,841	10,436	12,253	289	146	98,403
■ 慶祥	236	297	272	270	76	207	319	320	243	382	228	75	2,925
■ 深草	0	10	7	17	13	7	29	14	7	34	12	2	152
■ 宇治	22	47	62	33	15	14	48	71	70	82	52	29	545
■ 学外	5,840	9,695	10,638	11,992	8,020	8,779	12,188	13,098	14,225	15,818	6,779	7,131	124,203
■ 合計	167,603	211,564	231,169	309,053	87,541	118,326	212,378	214,793	202,525	234,729	48,380	49,455	2,087,516

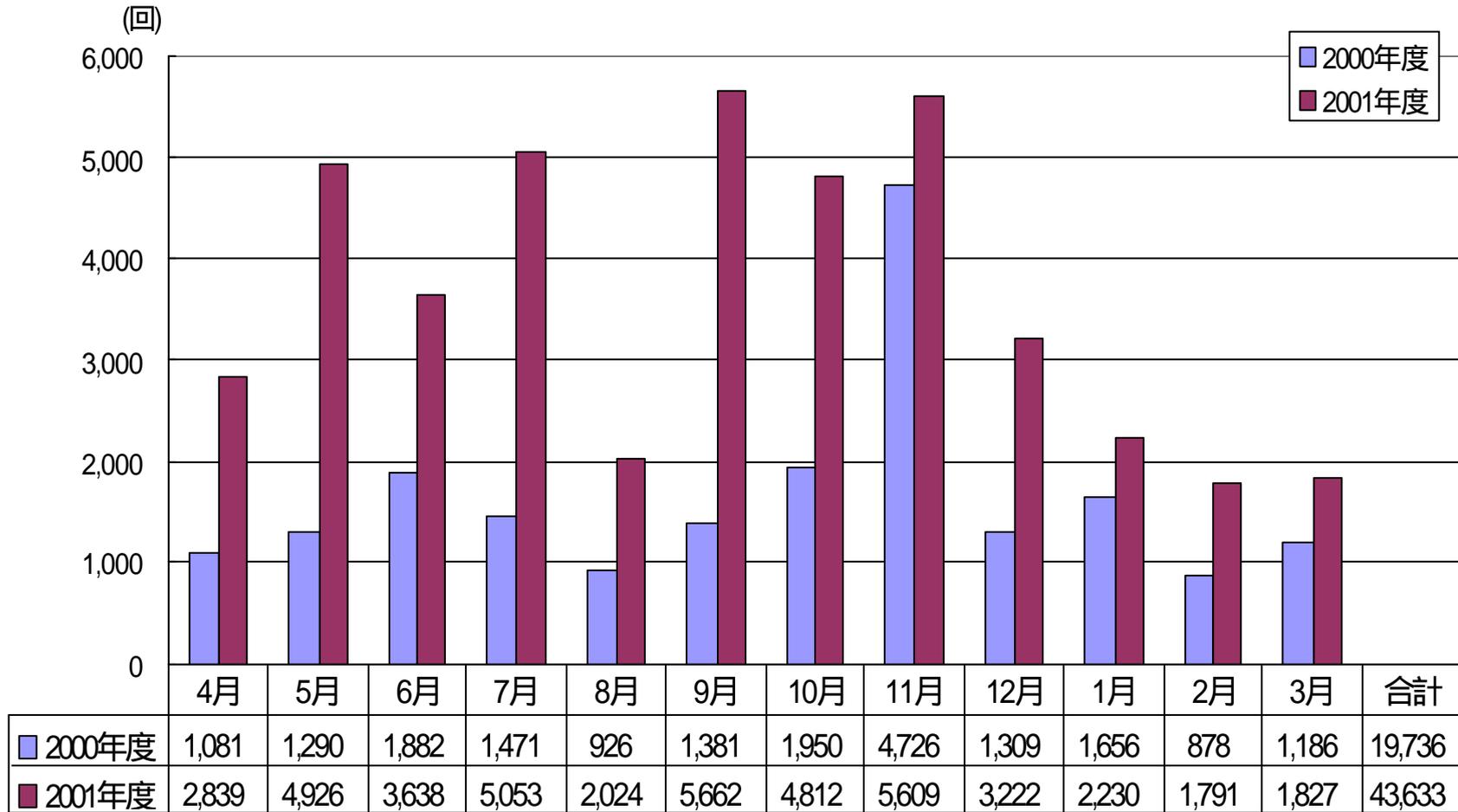
# 日経ニューステレコン21



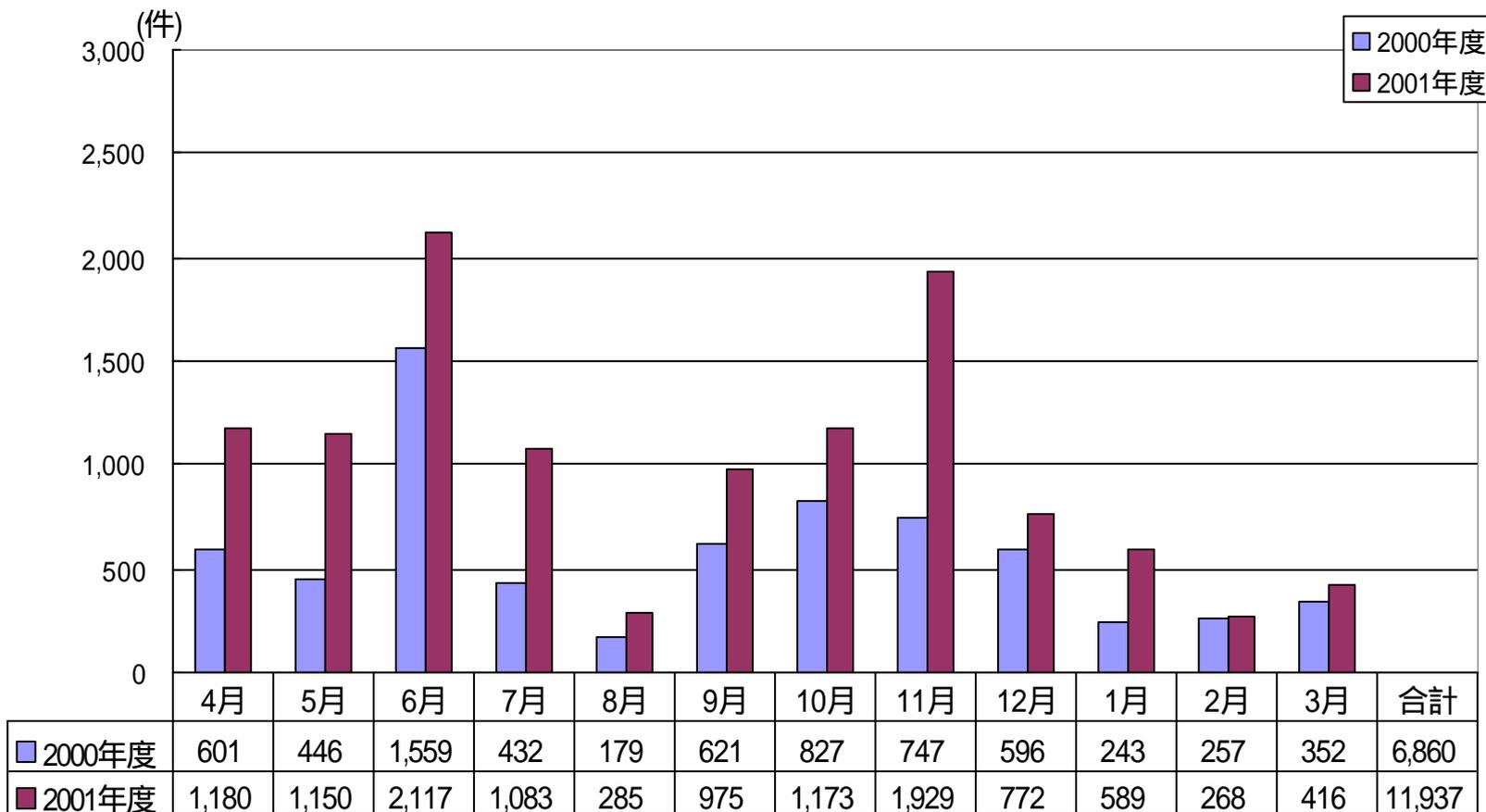
# ProQuest



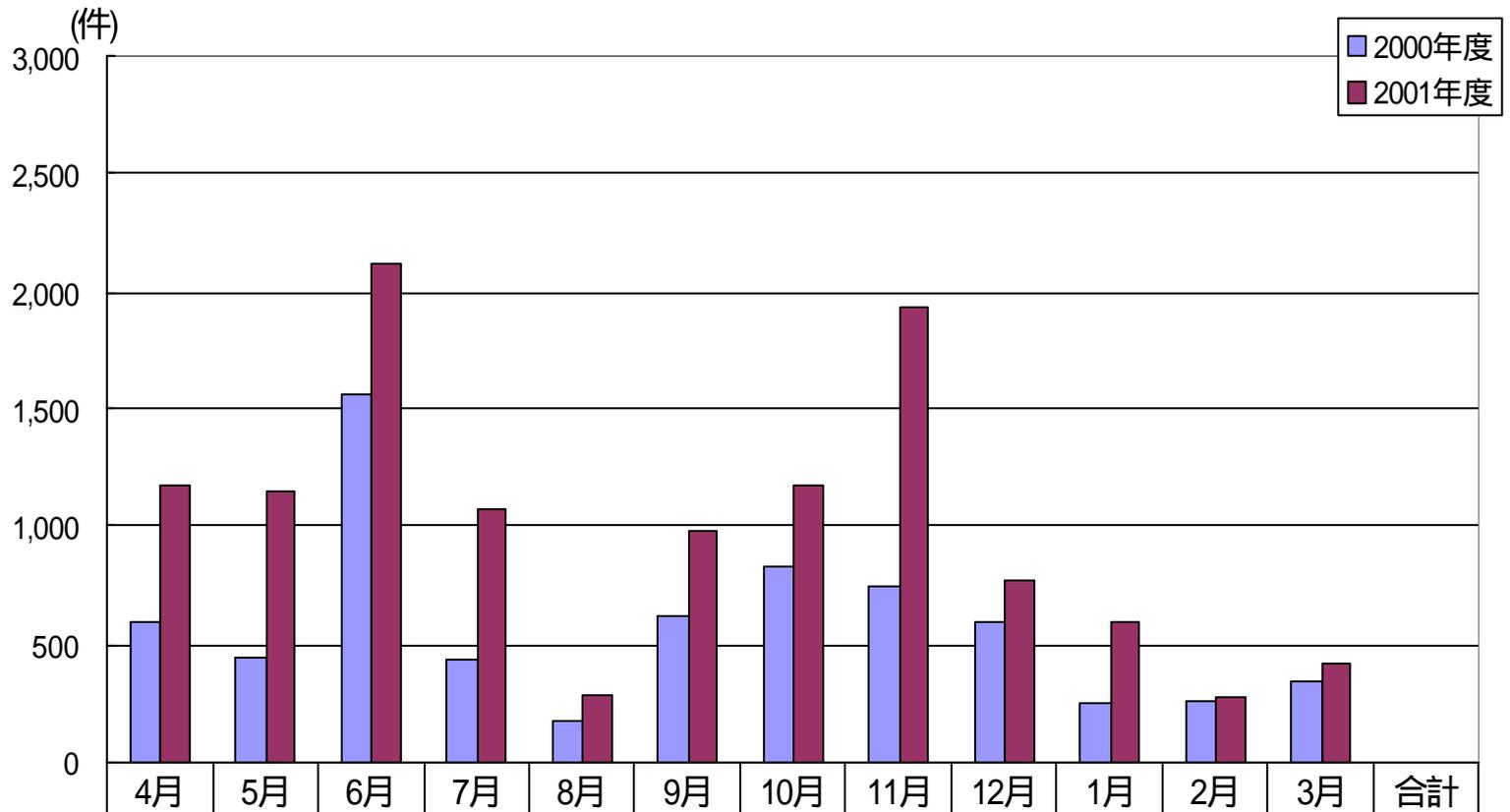
# DialogSelect



# Elsevier Science Direct21

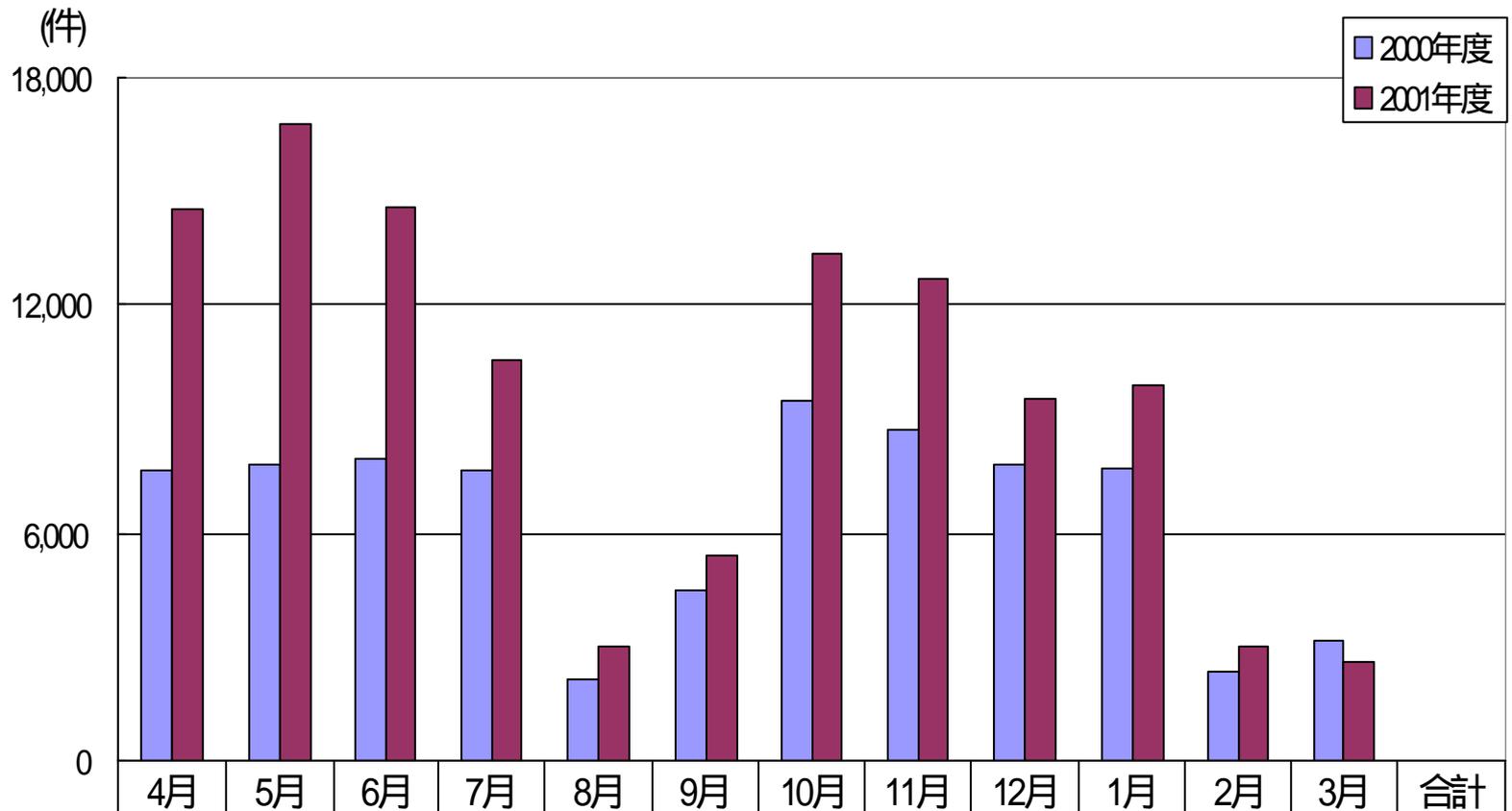


# OCLC FirstSearch



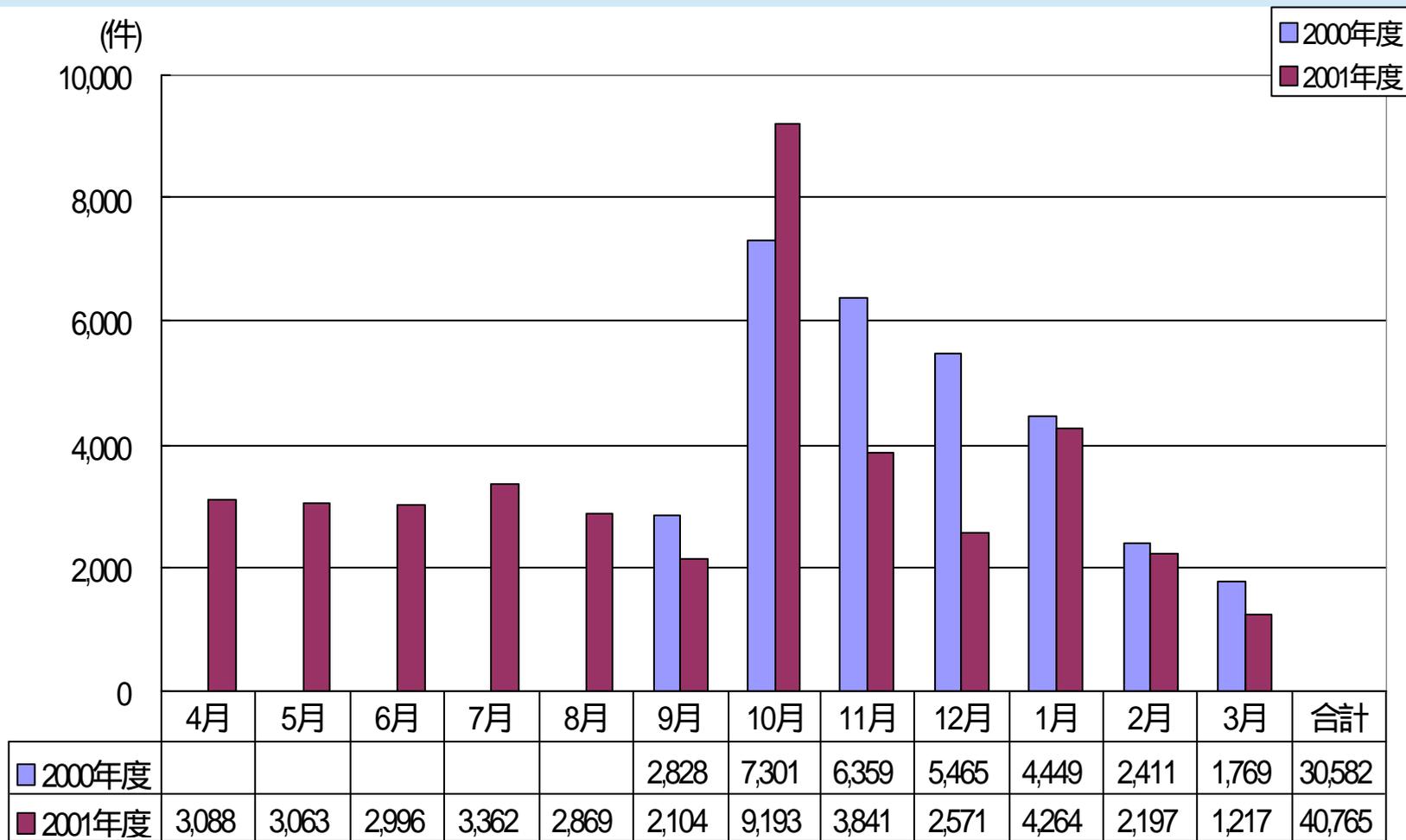
■ 2000年度	601	446	1,559	432	179	621	827	747	596	243	257	352	6,860
■ 2001年度	1,180	1,150	2,117	1,083	285	975	1,173	1,929	772	589	268	416	11,937

# 朝日新聞DNA

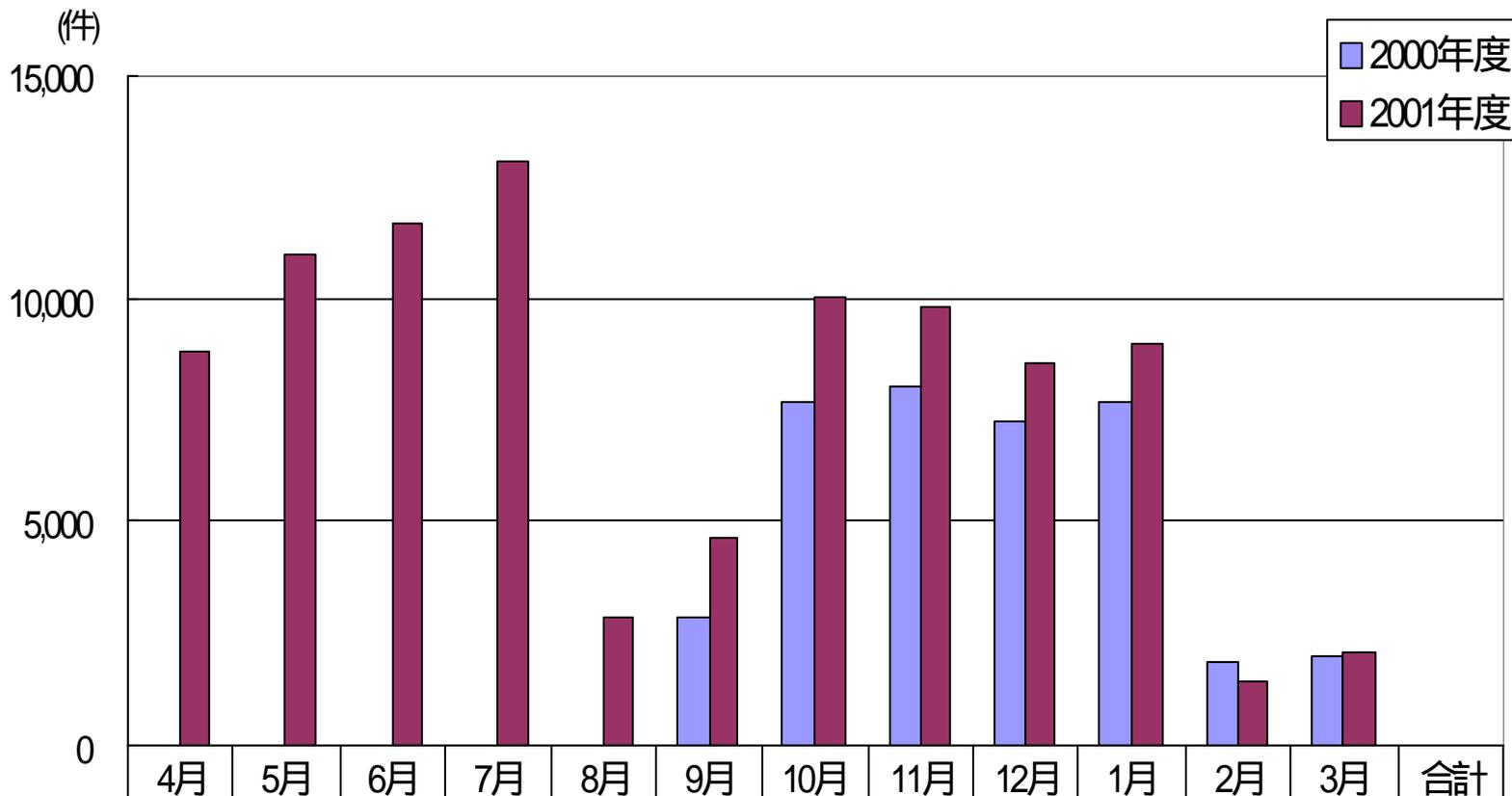


■ 2000年度	7,654	7,756	7,974	7,632	2,118	4,448	9,468	8,747	7,798	7,690	2,285	3,176	76,746
■ 2001年度	14,530	16,741	14,636	10,535	3,008	5,397	13,371	12,675	9,554	9,863	2,957	2,564	115,831

# 出版情報データベース

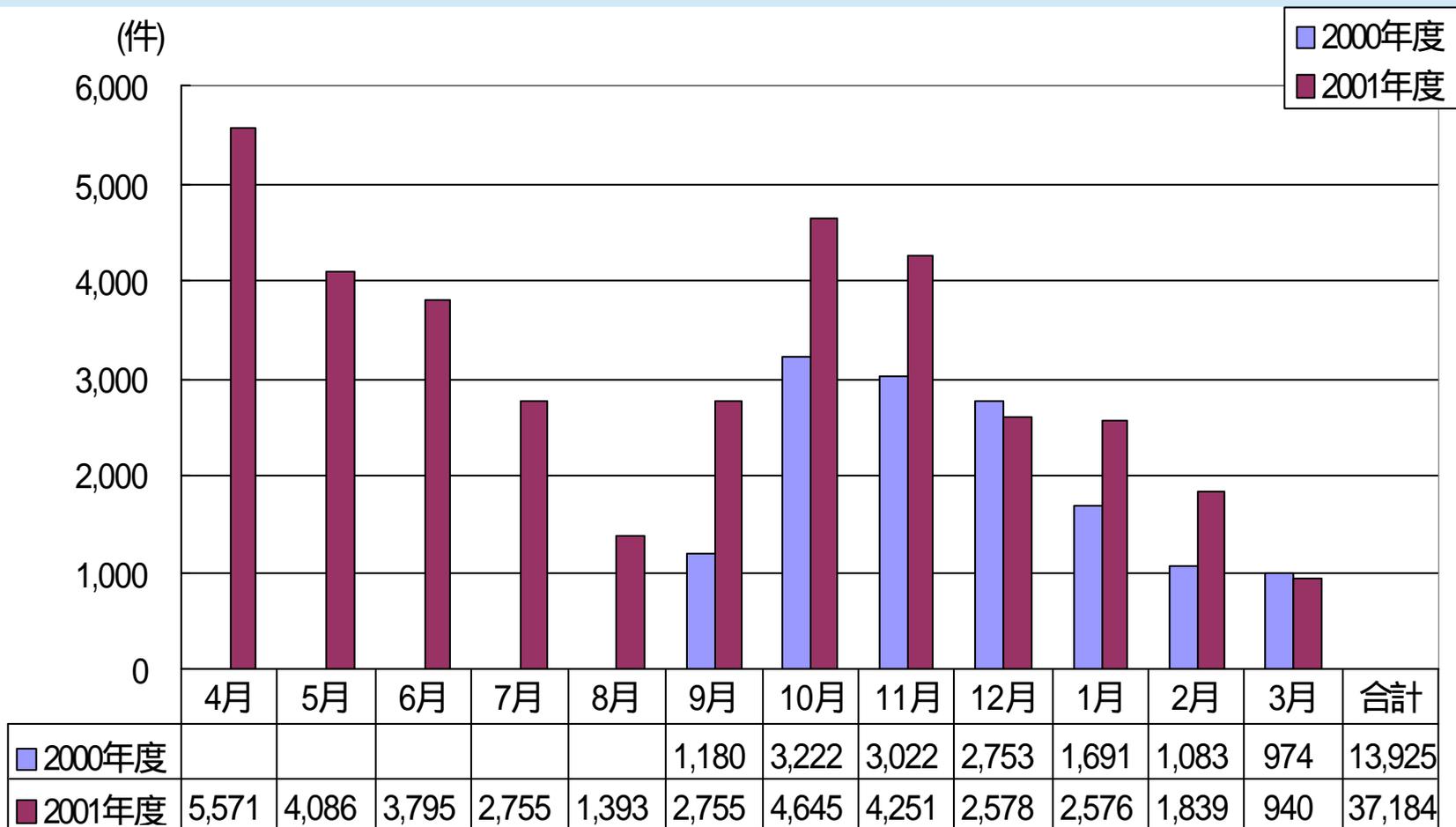


# 和書コンテンツデータベース

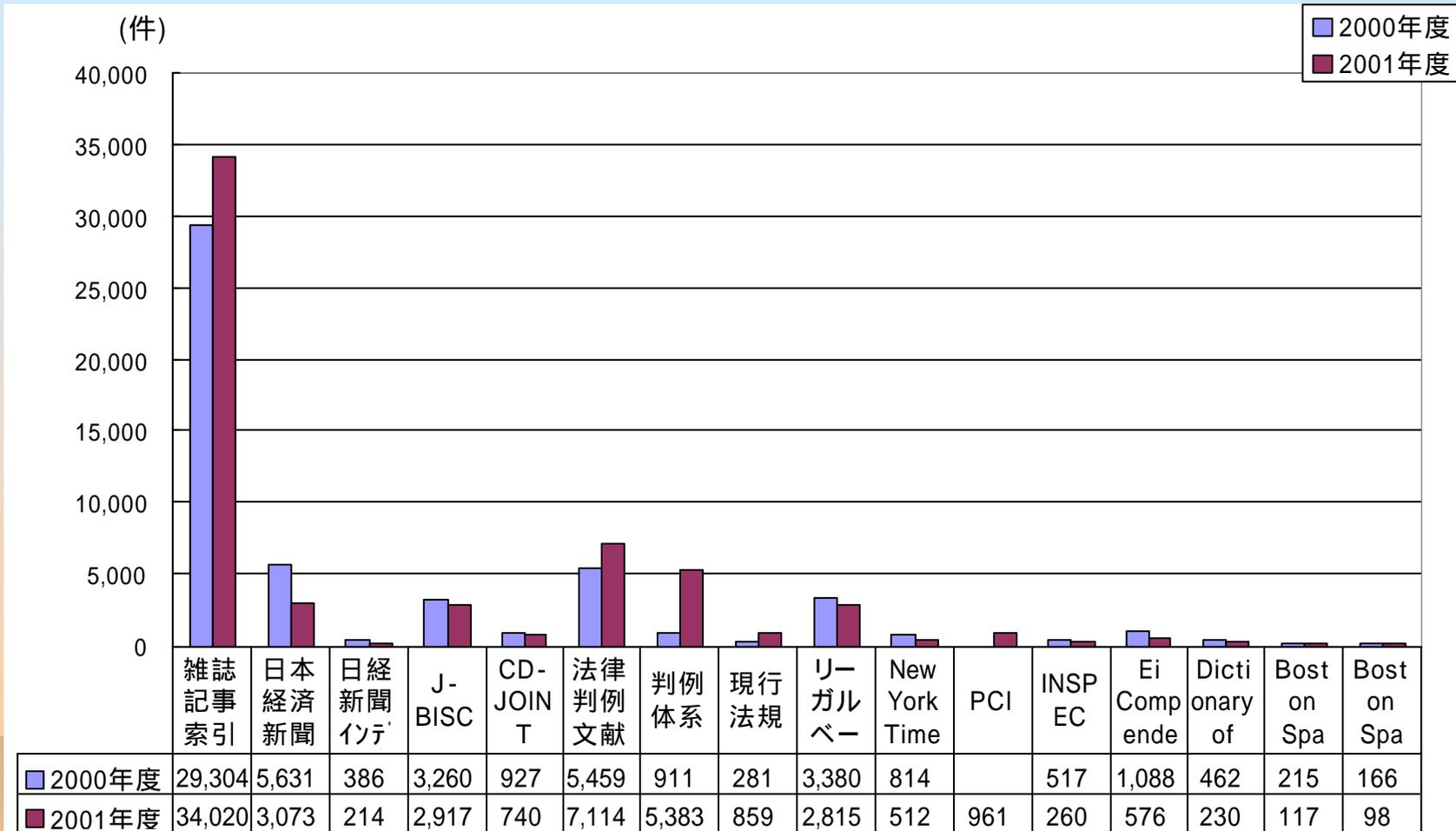


■ 2000年度						2,866	7,682	8,023	7,259	7,656	1,868	1,983	37,337
■ 2001年度	8,795	11,000	11,710	13,027	2,882	4,632	10,033	9,849	8,568	8,985	1,470	2,093	93,044

# 洋雑誌コンテンツデータベース



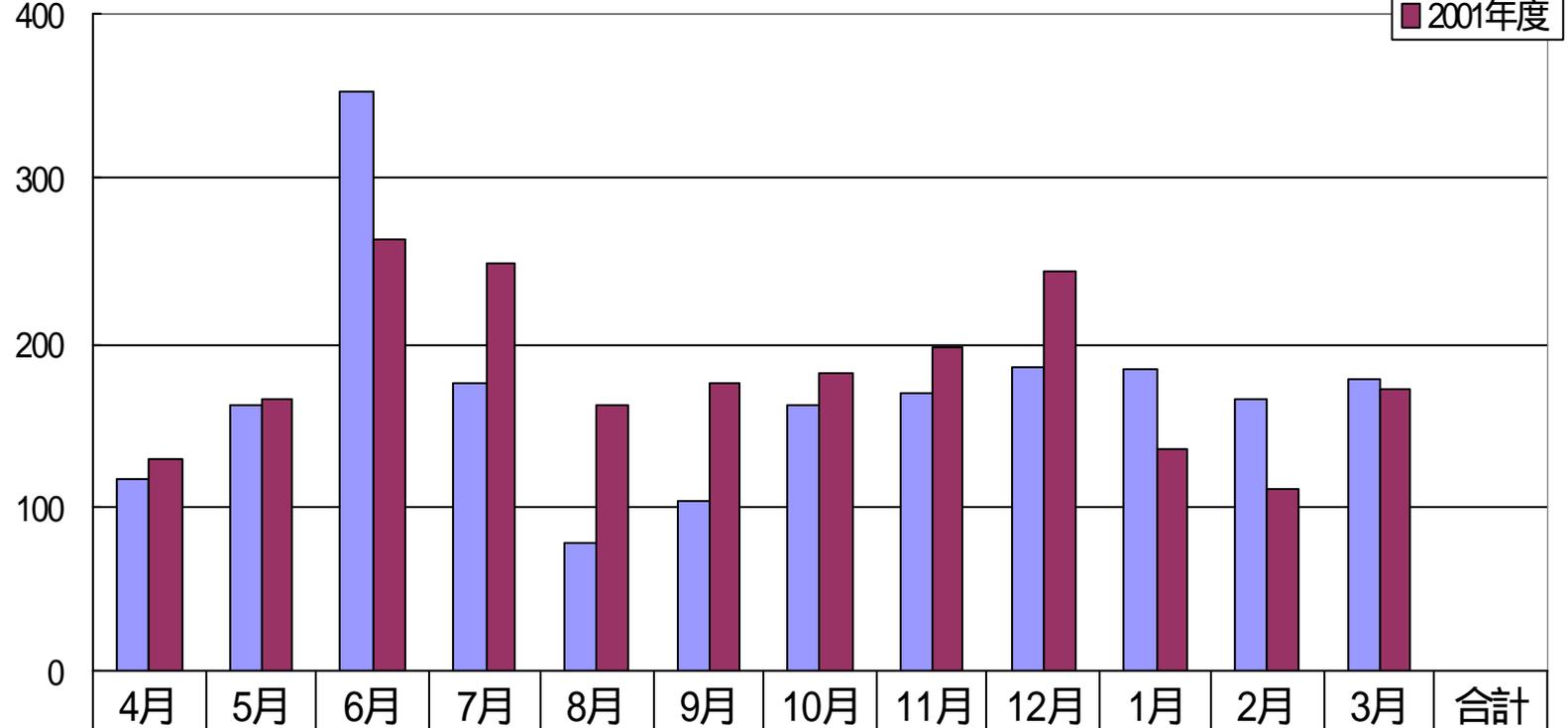
# LAN対応CD-ROMサーバ



# LEXIS-NEXIS

(件)  
400

■ 2000年度  
■ 2001年度



■ 2000年度	118	162	354	176	79	103	162	169	185	184	165	178	2,035
■ 2001年度	128	165	264	247	162	175	182	197	243	135	112	171	2,181

# 業務委託のあり方

- ⌘ コスト削減（人件費の削減、設備投資費用の削減）
- ⌘ 専門性の確保・強化
- ⌘ 本業への進出（選択と集中 = Core Competence、コア業務の明確化・強化）
- ⌘ 新規分野への進出、また機能の強化
- ⌘ 組織のリエンジニアリング



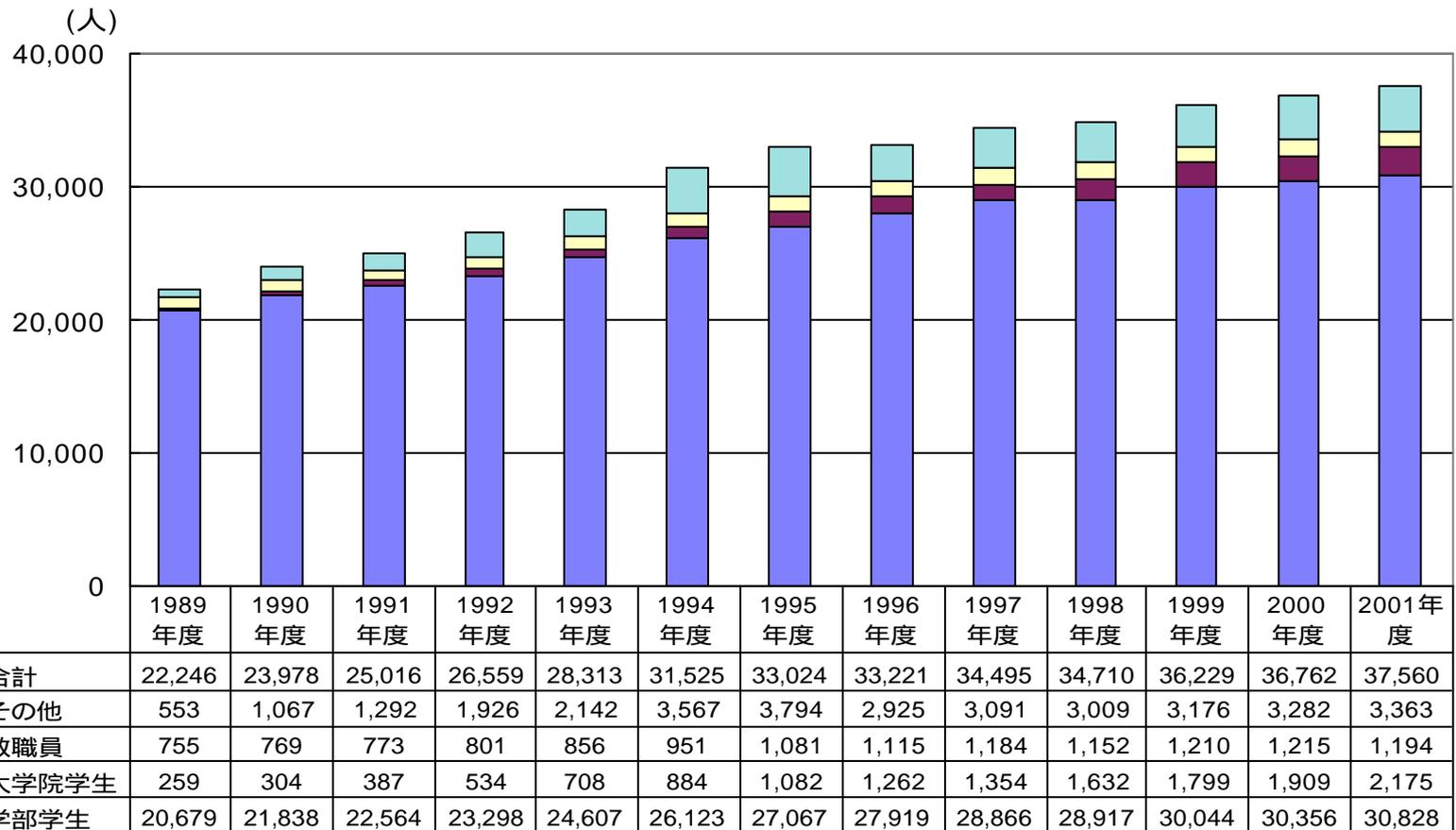
# 初期(～‘97年度まで)における業務委託の推進

- ♫ コスト削減(人件費の削減、設備投資費の削減)
- ♫ 本業への進出(選択と集中 = Core Competence、コア業務の明確化・特化)
- ♫ サービスの拡大

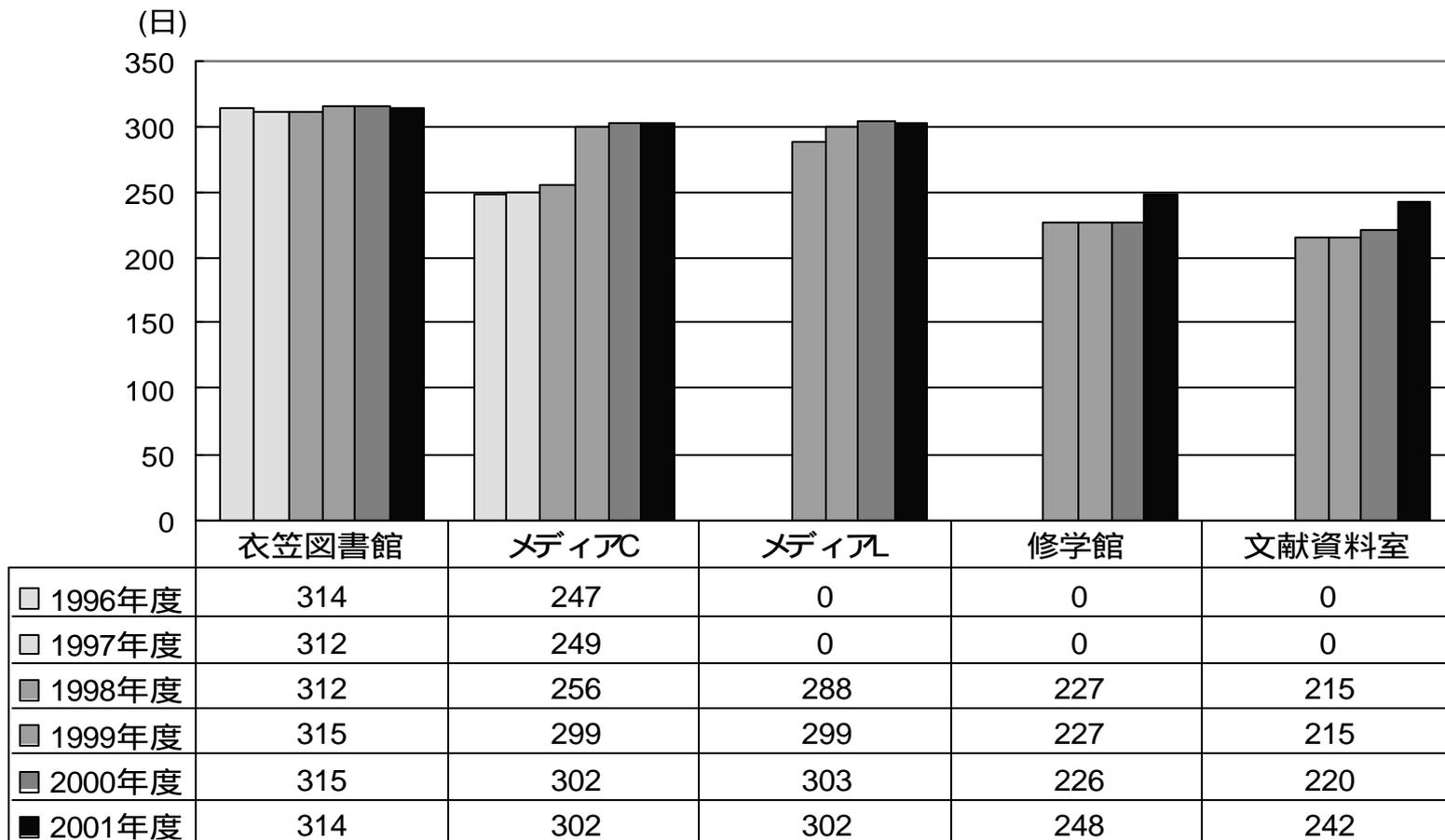


- < 業務委託内容 >
- ・ 受入、目録の一部、装備
  - ・ 閲覧、貸出サービスなど
  - ・ 年間314日、22時までの開館

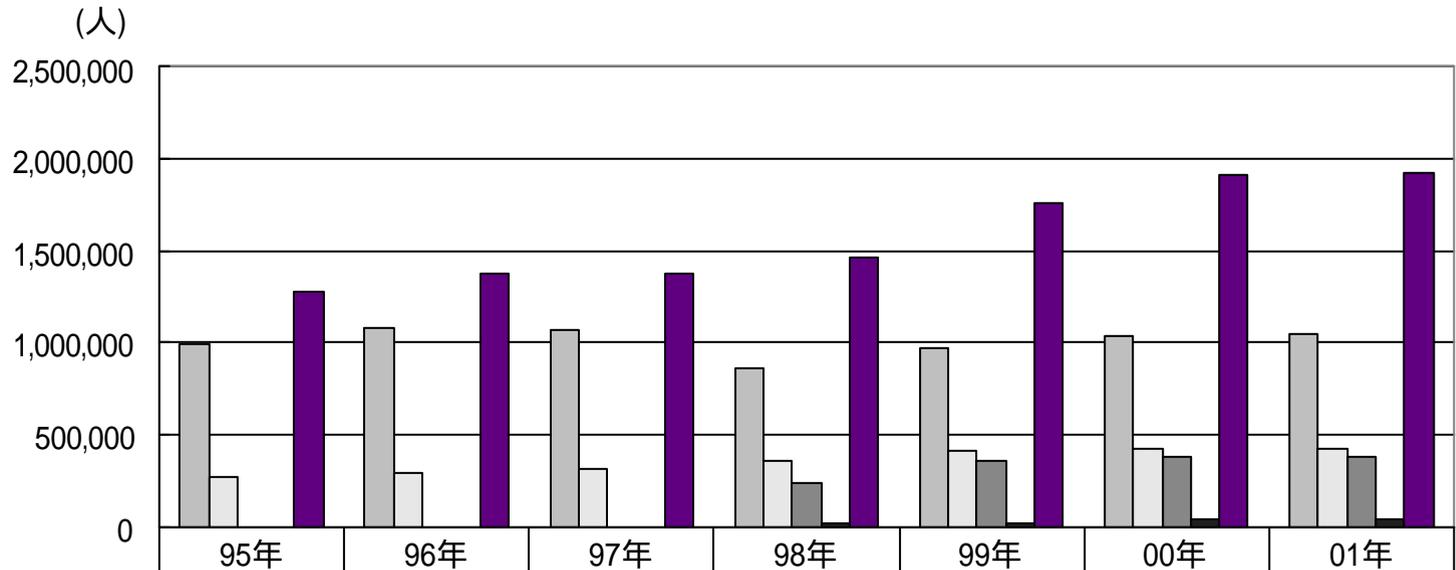
# 利用対象者数の推移



# 館別開館日数の推移

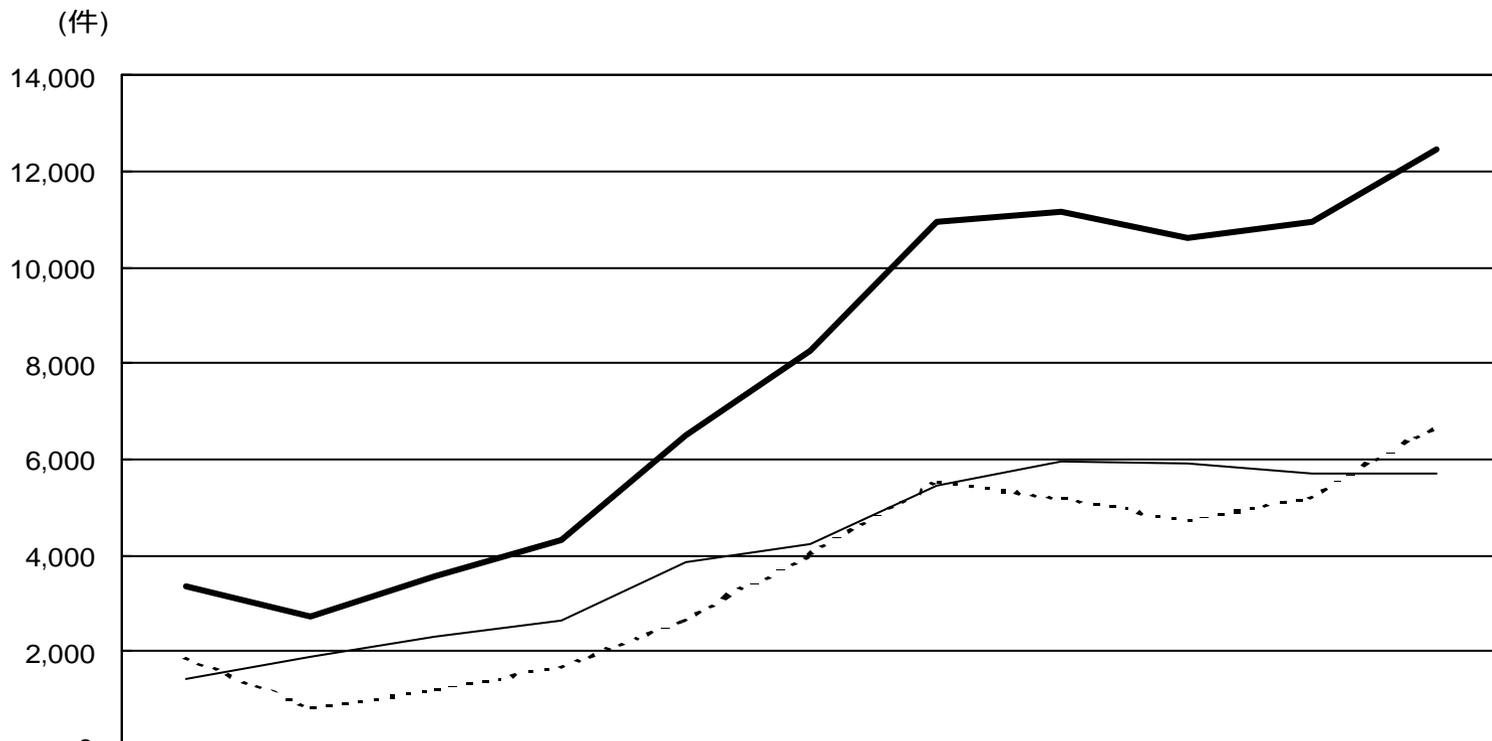


# 入館者数経年比較



■ 衣笠図書館	993,443	1,084,584	1,068,650	853,491	974,852	1,041,446	1,055,854
□ メディアセンター	273,637	296,793	313,897	348,246	414,793	427,462	435,573
■ メディアライブラリー	0	0	0	240,287	348,413	388,156	383,815
■ 人文系文献資料室	0	0	0	19,065	20,022	50,921	50,792
■ 合計	1,267,080	1,381,377	1,382,547	1,461,089	1,758,080	1,907,985	1,926,034

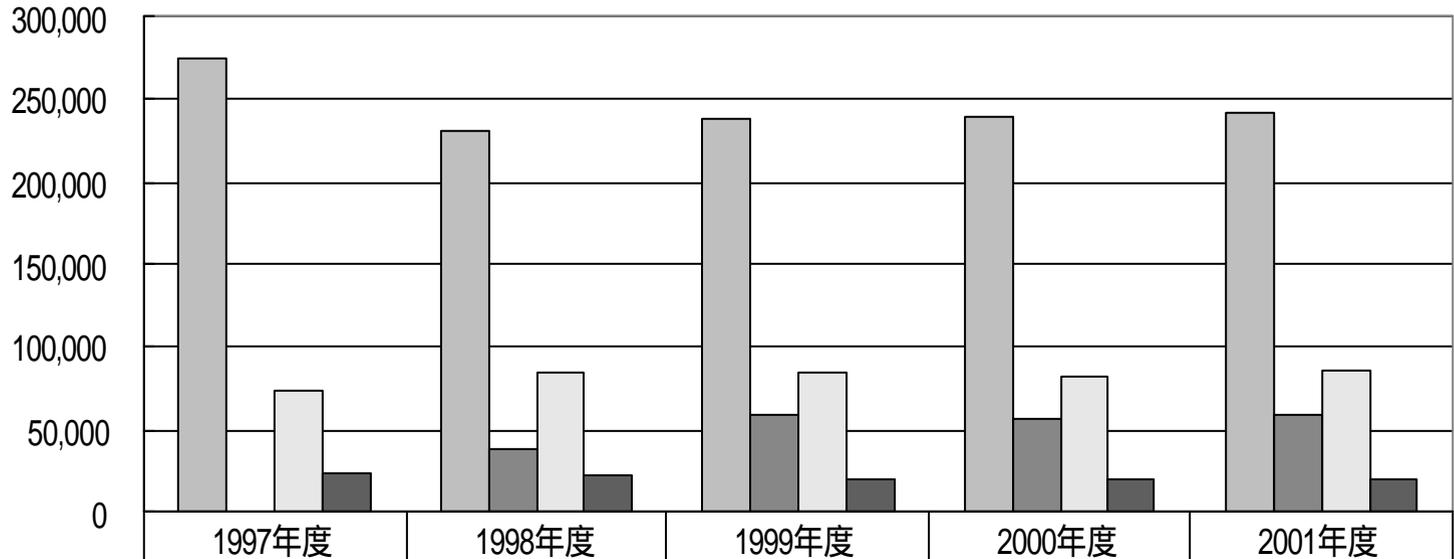
# 学外相互利用の推移



	1991年度	1992年度	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度
— 受付	1,425	1,908	2,342	2,662	3,878	4,214	5,431	5,973	5,894	5,744	5,713
- - - 依頼	1,928	848	1,230	1,683	2,654	4,063	5,520	5,191	4,729	5,187	6,760
— 合計	3,353	2,756	3,572	4,345	6,532	8,277	10,951	11,164	10,623	10,931	12,473

# 貸出冊数推移

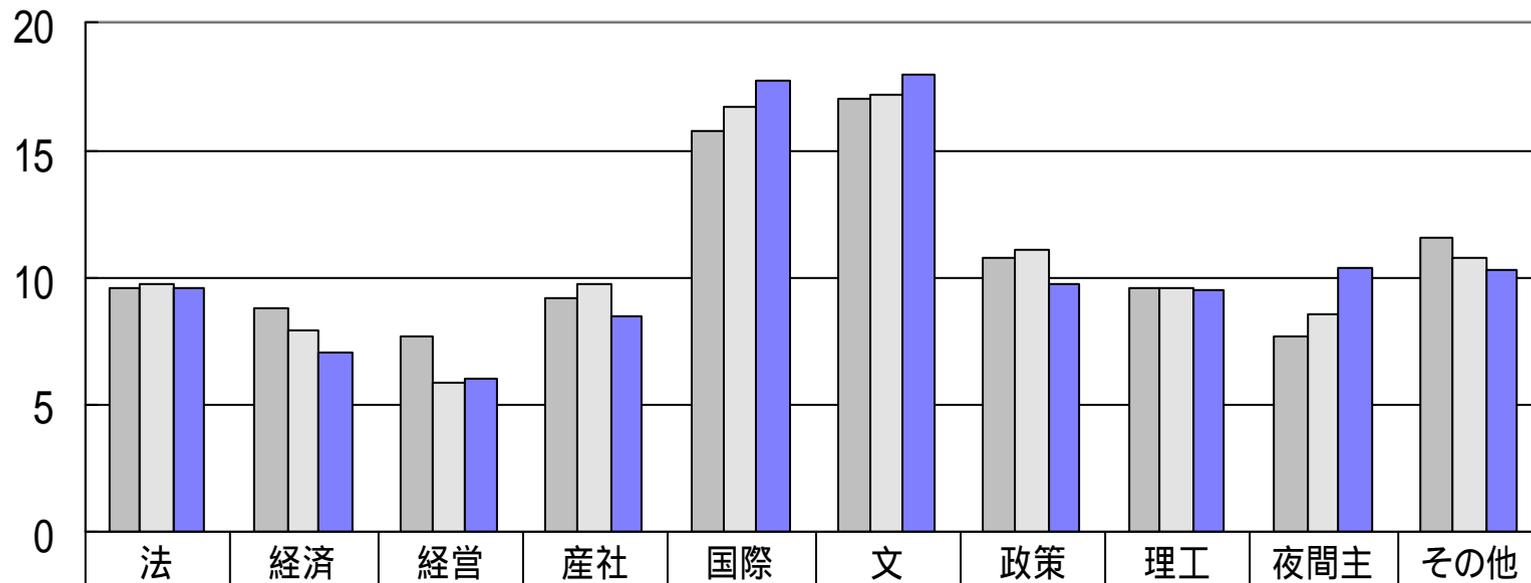
(冊)



	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度
■ 衣笠図書館	274,478	230,267	237,299	239,247	240,823
■ メディアライブラリー	0	37,803	58,345	57,036	58,713
□ メディアセンター	73,272	83,621	84,333	81,986	85,480
■ 修学館等	23,460	22,193	20,160	19,218	20,684

# 学部別学生一人当たりの貸出冊数

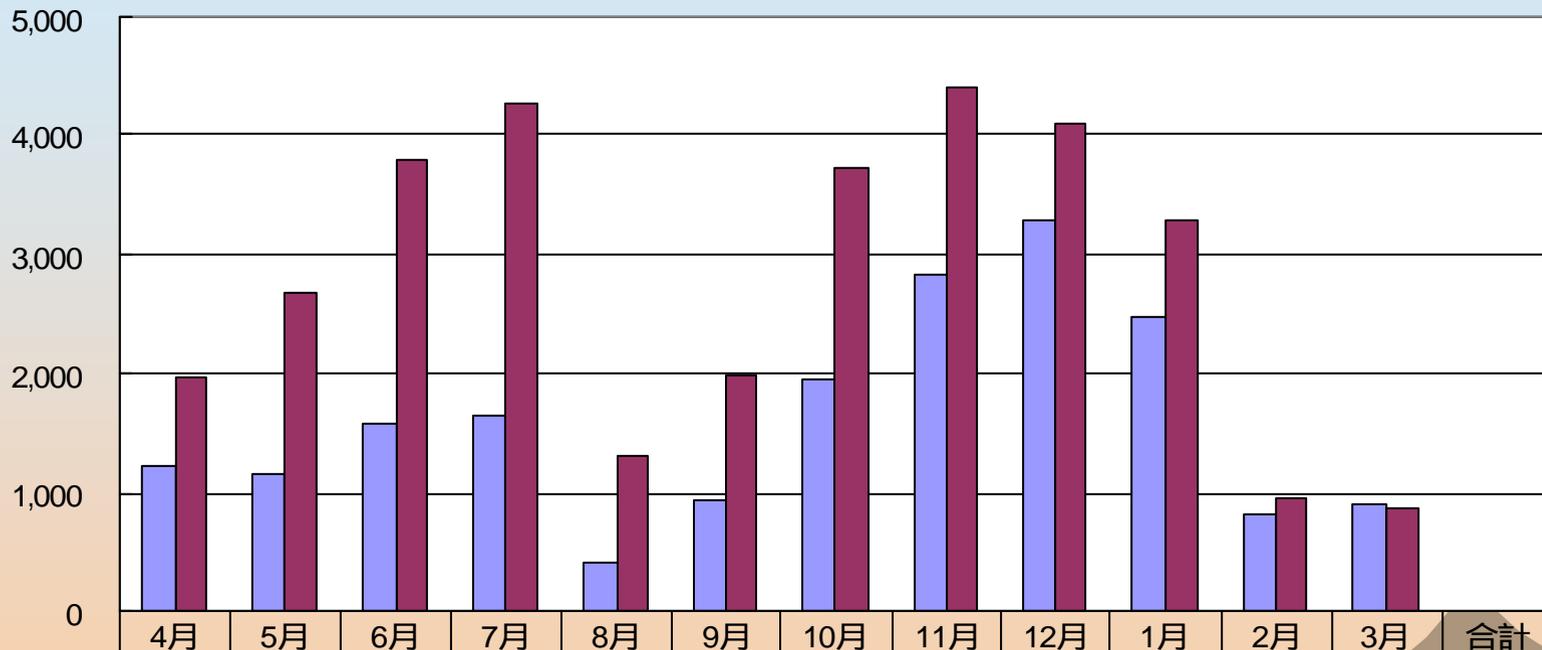
(冊)



■99年	9.6	8.8	7.7	9.1	15.8	17	10.8	9.6	7.7	11.5
□00年	9.7	7.9	5.8	9.7	16.7	17.1	11.1	9.6	8.6	10.7
■01年	9.6	7.1	6.1	8.4	17.8	17.9	9.8	9.5	10.4	10.3

# オンライン予約取寄依頼件数

(件)



2000年度	1,216	1,156	1,590	1,647	406	932	1,939	2,823	3,301	2,476	824	911	19,221
2001年度	1,963	2,671	3,801	4,265	1,311	1,978	3,741	4,406	4,086	3,282	947	869	33,320

# ‘98年度からの業務委託の推進

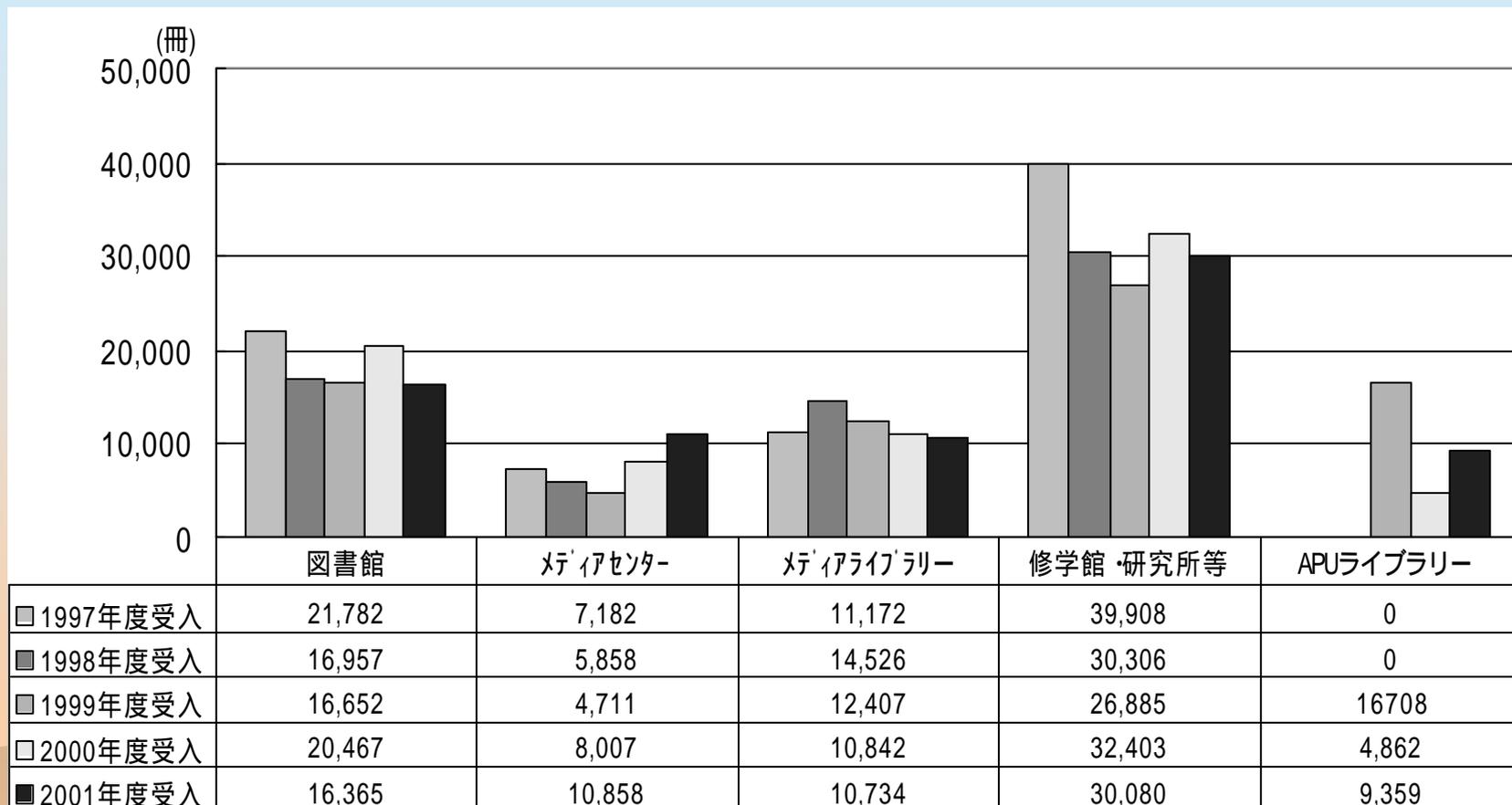
専門性の確保・強化



< 業務委託内容 >

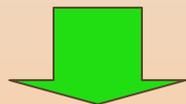
- ・ 目録業務の全面委託

# 館別受入冊数の推移



# 専門業務の委託化の推進

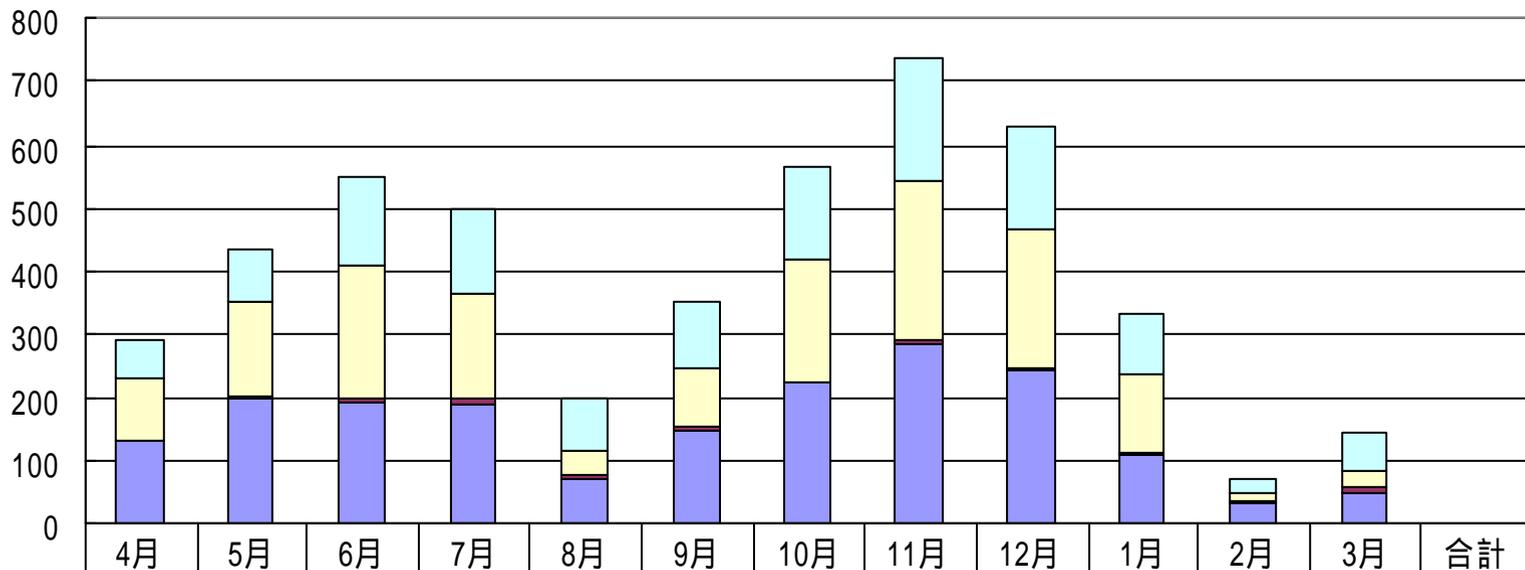
- ♫ 専門性のさらなる確保・強化（教学改革、大学院改革に対応したレファレンス）
- ♫ 機能の強化（企画・立案）
- ♫ 新規分野への進出（電子図書館）



情報サービスをコア化：レファレンスサービスの拡充

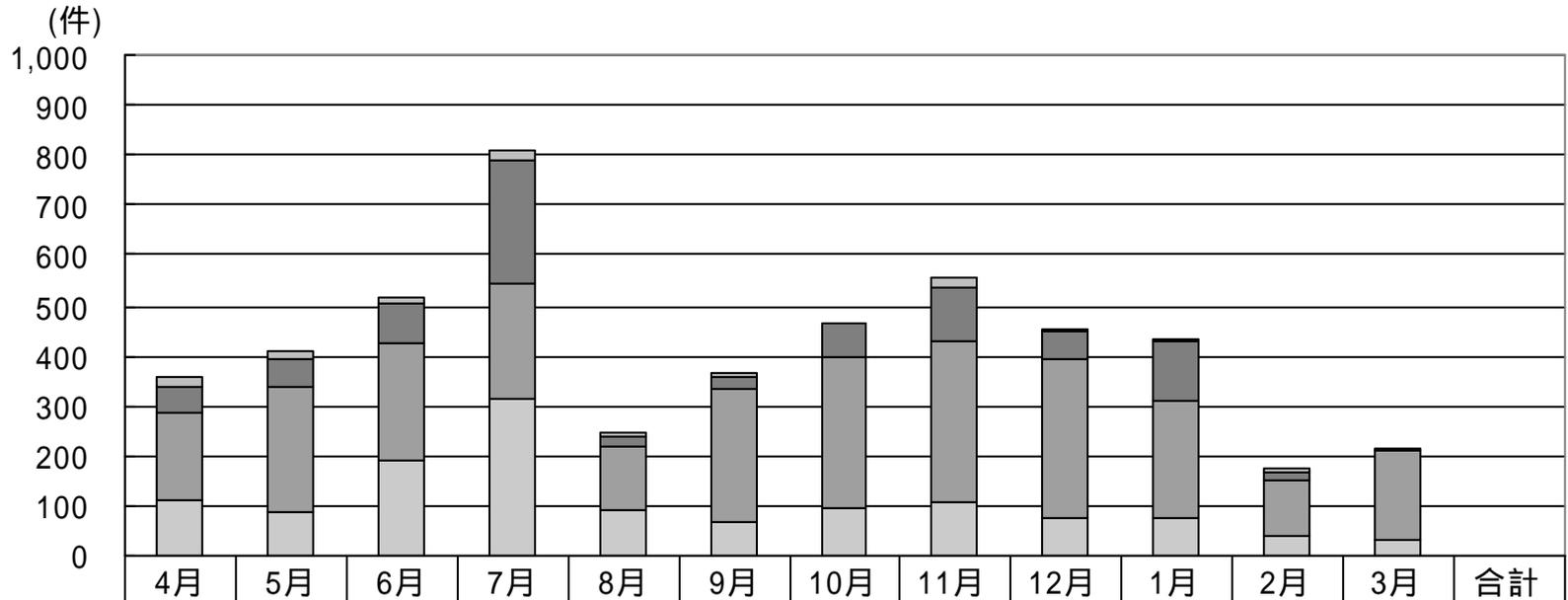
# 衣笠図書館レファレンス状況

(件)



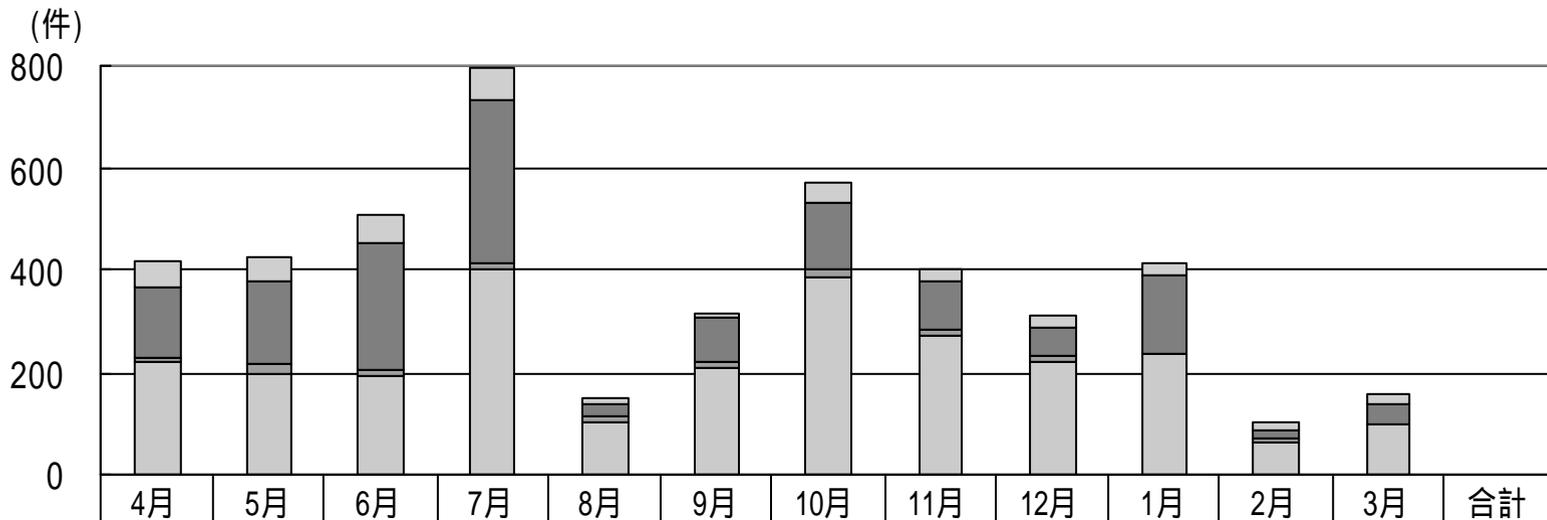
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
■ その他	60	87	138	136	78	105	148	190	160	94	21	59	1,276
■ 利用指導	99	148	209	167	44	92	193	253	219	125	17	29	1,595
■ 事項調査	2	6	5	5	3	6	2	9	7	4	1	8	58
■ 所在調査	130	197	195	191	72	148	224	284	241	110	33	50	1,875

# メディアセンターのレファレンス状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	356	406	517	811	242	364	464	556	451	434	173	212	4,986
■ その他	20	15	15	20	5	4	2	20	4	5	9	0	119
■ 利用指導	50	53	80	247	19	29	65	108	52	121	17	5	846
■ 事項調査	177	251	234	232	129	267	301	324	319	233	107	178	2,752
■ 所在調査	109	87	188	312	89	64	96	104	76	75	40	29	1,269

# メディアライブラリ - のレファレンス状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	415	425	507	795	146	314	570	399	310	411	101	160	4,553
■ その他	47	46	57	65	8	11	40	20	21	23	14	23	375
■ 利用指導	145	166	247	320	25	82	128	99	60	150	20	39	1,481
■ 事項調査	5	13	12	9	13	15	19	9	10	4	4	5	118
■ 所在調査	218	200	191	401	100	206	383	271	219	234	63	93	2,579

# 専任職員の役割

- ♫ 企画・立案のスキル
- ♫ 業務管理・人事管理スキル(ナレッジの継承の重要性とさらなる専門性が問われる)



## 新規分野のスキル

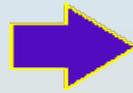
- 電子図書館の構築、ネットワーク時代における学術情報  
**Logistics** (情報の入手から情報サービス) のスキル
- 社会情勢、大学情勢および顧客ニーズの察知
- 企画・立案と実現にむけてのマネジメントスキル

# 組織統合の意義

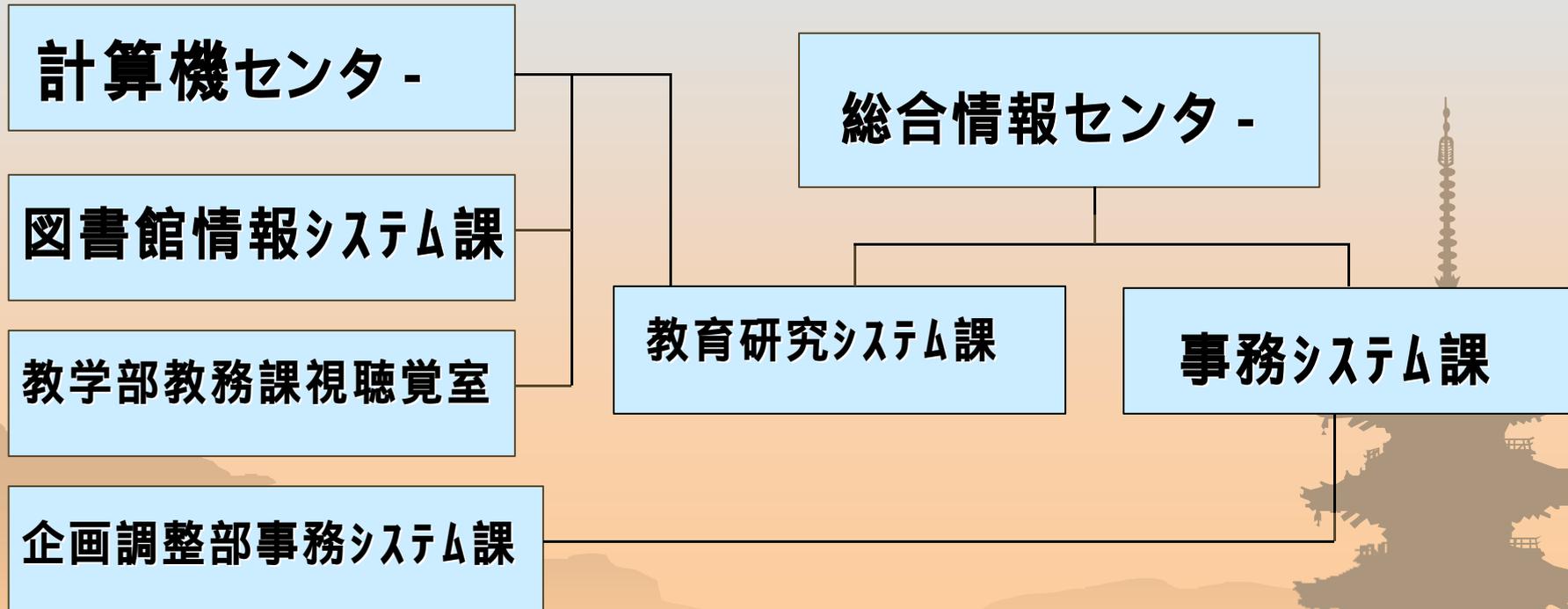
- ⊗ 21世紀に向けてインターネットを含めた総合的な学術・情報システムの構築や種々のデジタル情報の構築推進
- ⊗ 電子図書館機能の充実と学術情報サービスの高度化
- ⊗ トータル的なネットワークの構築、ハードウェア・ソフトウェア資源の最適な整備と資源・ノウハウの共有促進
- ⊗ データの一元管理と学園発展のための情報の戦略的活用促進
- ⊗ 人材・資源の有効活用

# 組織の統合再編(1993年)

旧組織

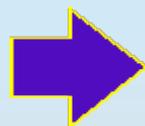


新組織



# 組織の統合再編(1998年)

旧組織

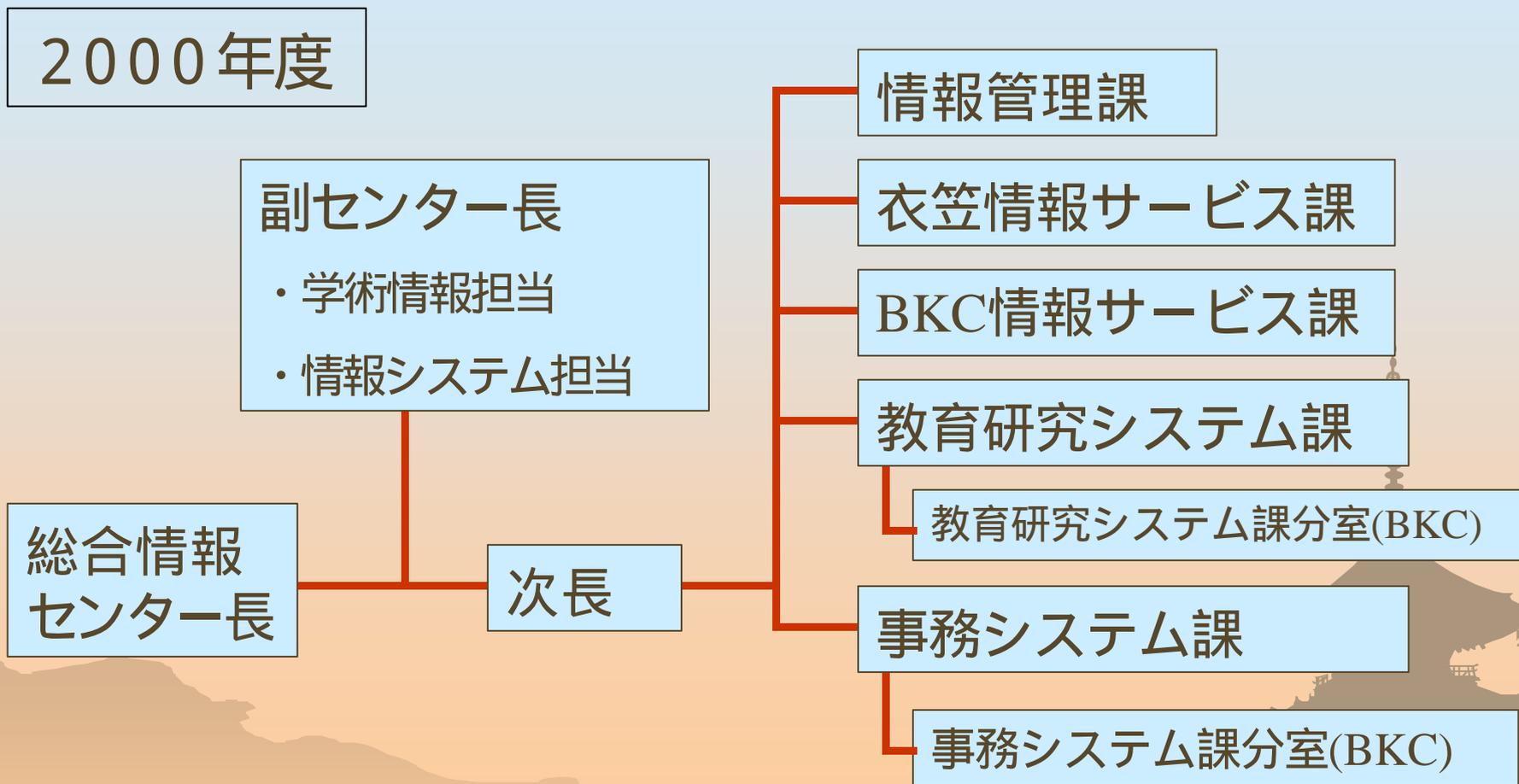


新組織



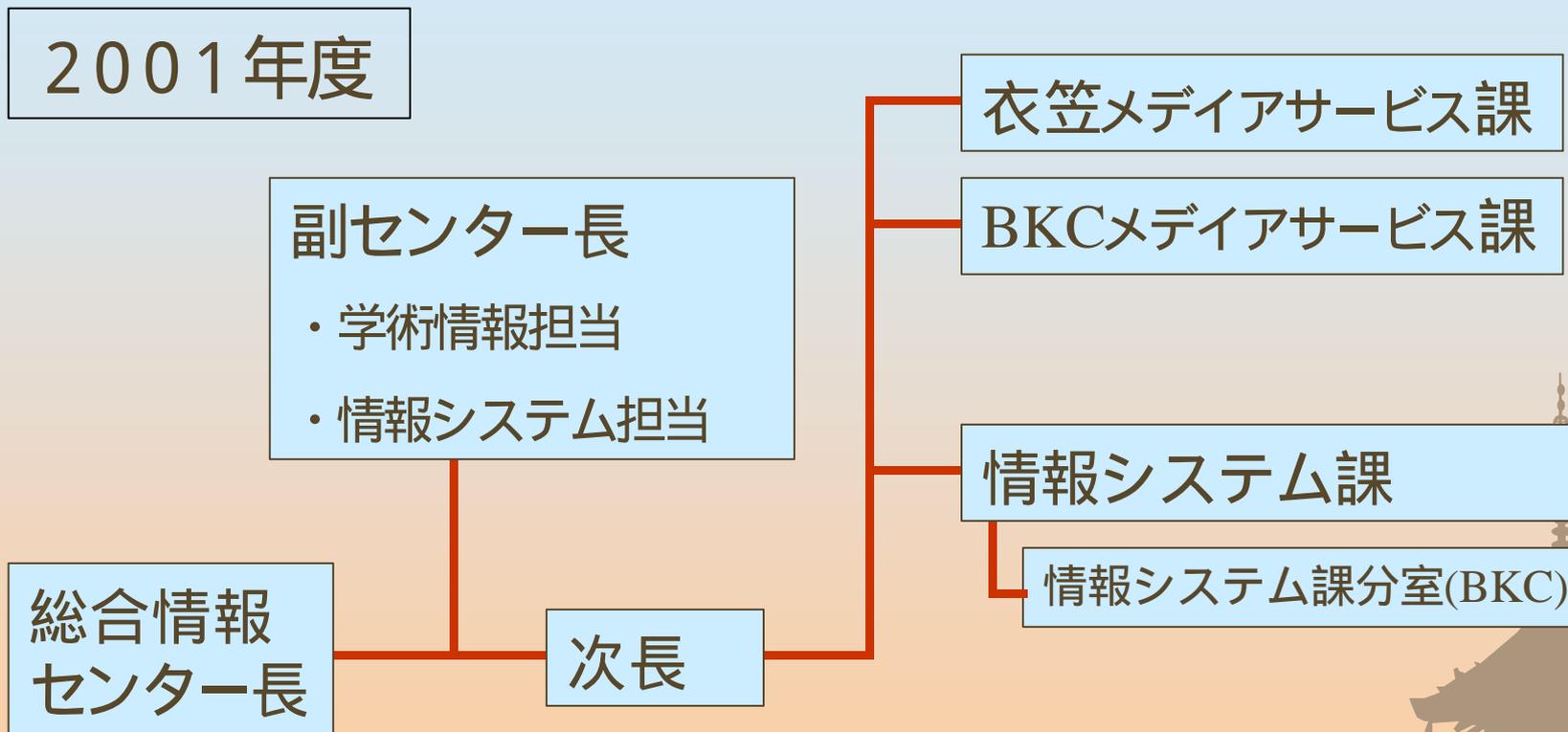
# 総合情報センター組織図

2000年度

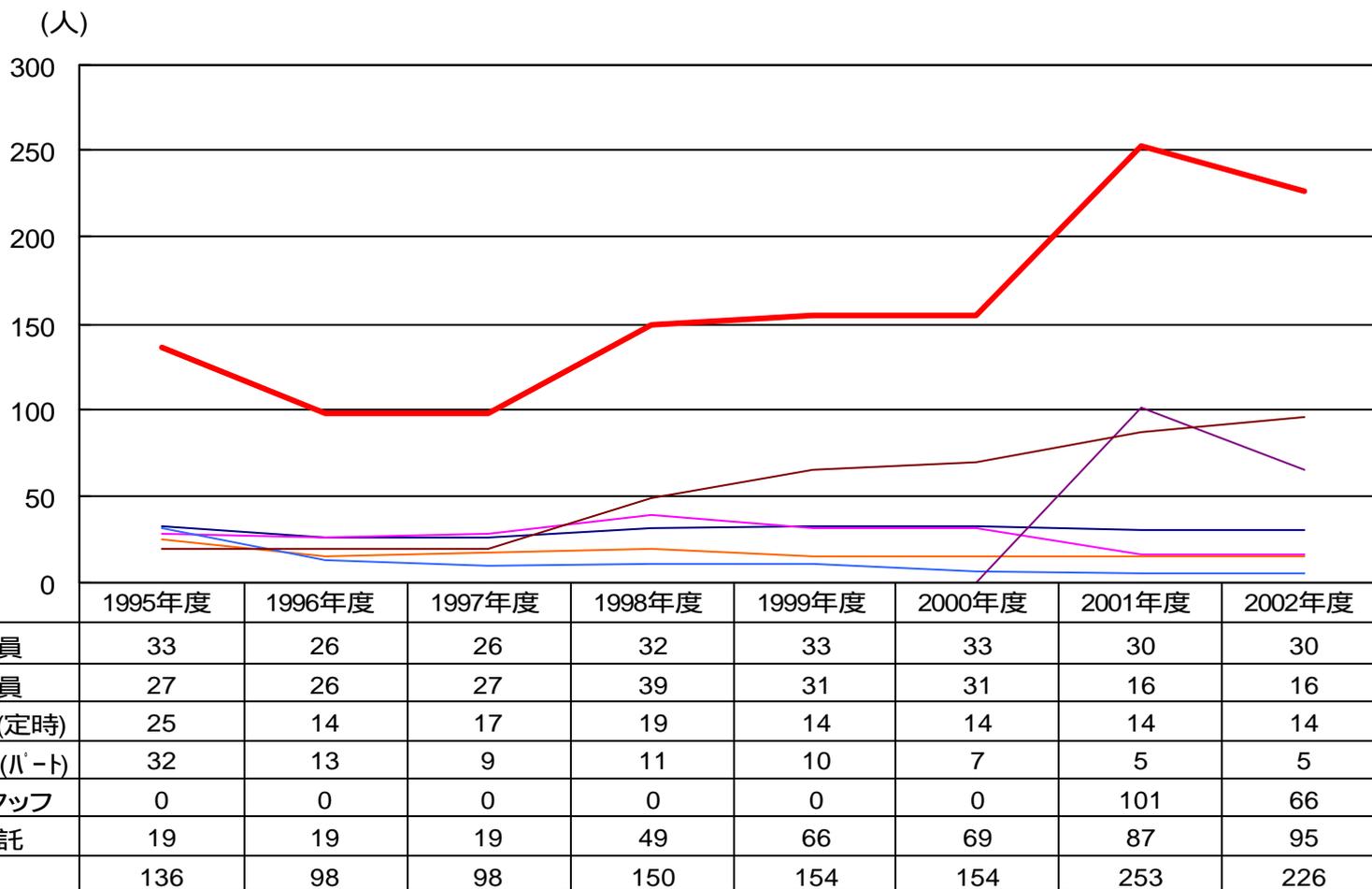


# 総合情報センター組織図

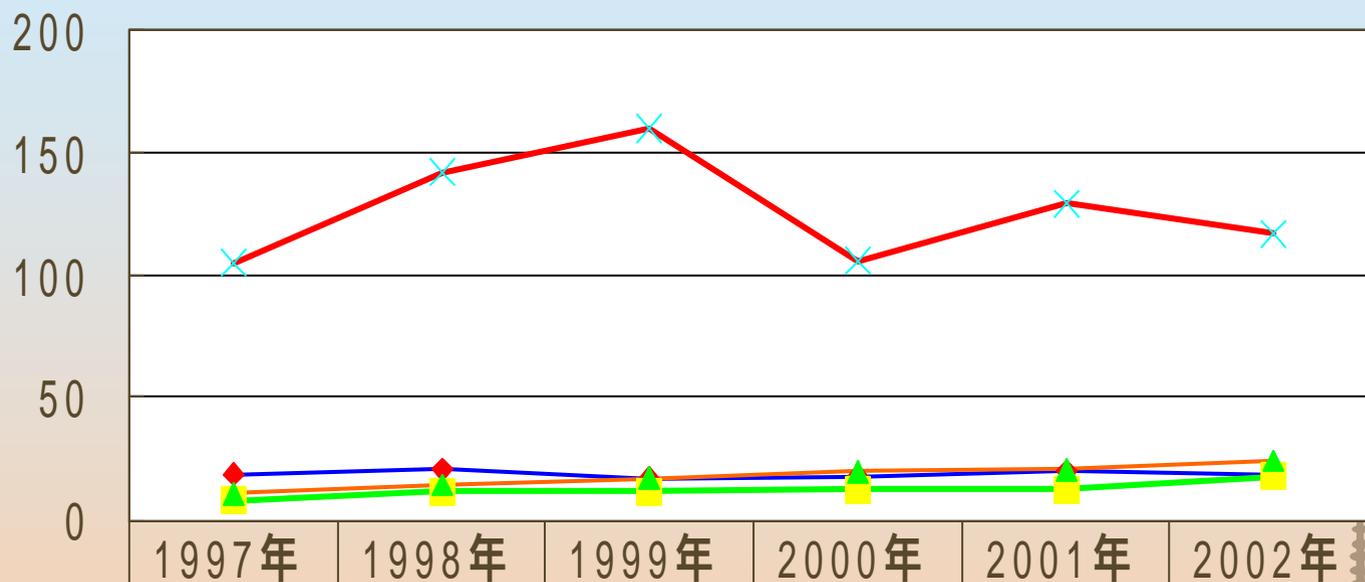
2001年度



# 学術情報部門体制表

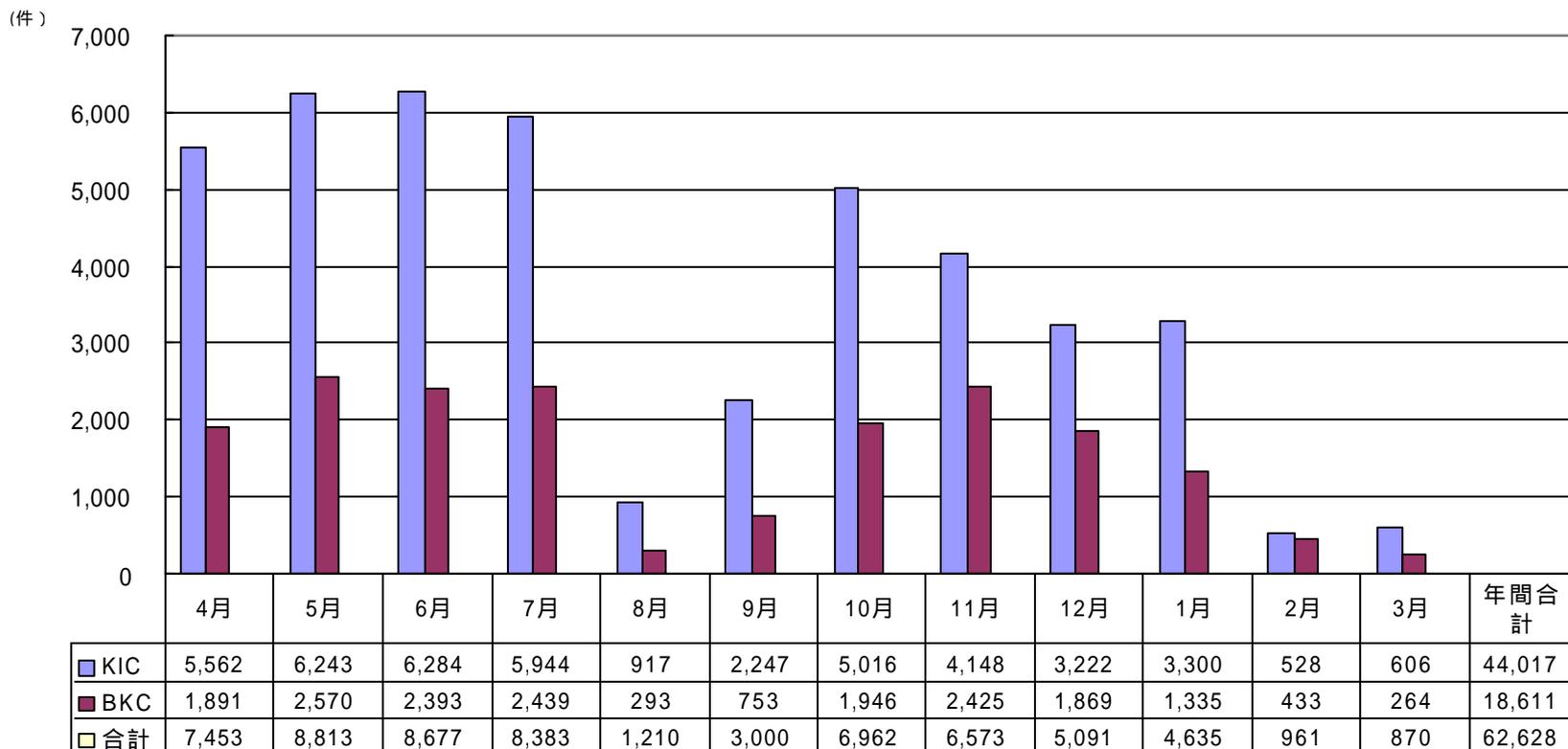


# 情報システム部門体制表



	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
◆ 専任職員	19	21	17	18	20	19
■ 契約職員	8	12	12	13	13	18
▲ 業務委託	11	14	17	20	21	24
× アルバイト	105	142	160	106	129	117

# RAINBOW STAFFによる学生の利用 相談対応件数の推移



# 今後の課題

- ⌘ 図書費のあり方
- ⌘ 資料保存のあり方
- ⌘ 大学図書館の役割

